

# 年表

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
1921 (大正10年)	5月 <b>正興商会創立(5月21日)</b> 所在地:福岡市上辻ノ堂15番地 代表者:土屋 直幹 営業種目:電気機械器具、材料販売	(特約店または代理店)(取扱品目) 日立製作所 発電機、モートル、変圧器 横河電機製作所 電気計器類 西島製作所 ポンプ他 本多電機製作所 配電盤、保安装置、蓄電池 幸袋工作所 タンク、製缶類 服部製作所 鉄塔機材	4月 軌道法成立、鉄道省創設 7月 スペイン風邪終息 9月 日本サッカー協会設立 12月 日英同盟廃棄
1922 (大正11年)			2月 ワシントン軍縮会議 6月 日本商工会議所設立 12月 ソビエト連邦成立
1923 (大正12年)		● 九州電灯鉄道(株)(現・西日本鉄道(株))に服部製作所製鉄塔およびポイント納入	9月 関東大震災
1924 (大正13年)	● <b>電気工事請負業を開始</b> 工事部併設部品制作開始	● 九州水力電気(株)(現・九州電力(株))佐賀関～坂ノ市間6,000V鉄柱建設工事施工 ● 四国水力電気(株)(現・四国電力(株))丸亀～高松間44,000V送電線建設工事施工	4月 第1回選抜中等学校野球大会開催 7月 メートル法実施
1925 (大正14年)		2月 熊本電気(株)日吉変電所屋外鉄構建設工事施工 7月 熊本電気(株)弓削～大牟田間66,000V2回線送電線工事施工 ● 九州電灯鉄道(株)(現・西日本鉄道(株))福岡食堂に米国製ラジオを取りつける	2月 全日本スキー連盟設立 4月 治安維持法成立 5月 九州送電(株)開業 7月 東京放送局ラジオ放送開始
1926 (大正15・昭和元年)		10月 土屋社長宅新設住宅48灯内線工事および照明工事施工 10月 九州帝国大学(現・九州大学医学部)レントゲン設備据付・内線工事施工 ● 東邦電力(株)(現・九州電力(株))大牟田支店の委託工事を開始 ● 宮崎県の大早魁に西島製ポンプを大量に納入 ● 九州水力電気(株)(現・九州電力(株))中津営業所の委託工事を開始	9月 日本放送協会(NHK)発足 12月 大正天皇崩御さる(12月25日) 昭和と改元
1927 (昭和2年)	3月 金融恐慌にて第十五銀行に“取りつけ”騒ぎがあり、当社預金1,800万円の支払を拒否される	● 東邦電力(株)(現・九州電力(株))福岡市内委託工事を開始	3月 銀行の“取りつけ”騒ぎで銀行倒産が続出 5月 日本オープンゴルフ大会開催(程ヶ谷カントリー倶楽部) 11月 日本ラグビー協会発足 12月 日本初の地下鉄開業(銀座線) ● 日本バレーボール協会設立
1928 (昭和3年)	● <b>工場開設</b> 所在地:福岡市出来町55番地 製造品目:配電盤、開閉器、通信器具・部品	6月 九州送電(株)(SNC)高千穂発電所屋外変電所建設工事施工	2月 第一回普通選挙実施 4月 日本商工会議所発足 7月 第9回アムステルダムオリンピック開催(織田幹雄・鶴田義行が金メダル)
1929 (昭和4年)		● 朝鮮大安送電線工事着手 ● 東邦電力(株)(現・九州電力(株))佐世保線66,000V2回線送電線および電話線工事施工	8月 ドイツ飛行船ツェペリン号来日 10月 ニューヨーク株式市場大暴落
1930 (昭和5年)	7月 <b>株式会社正興商会に組織変更(7月24日)</b> 所在地:福岡市出来町55番地 <b>資本金:10万円</b> 定款(事業目的) 1 各種機械器具工具及び材料販売 2 機械設計据付請負 3 電機工事設計請負 4 土木建築工事設備請負 5 前記各号に関連する一切の業務 役員 取締役社長 土屋 直幹 専務取締役 臺 清一 取締役 津田時之助 監査役 田中 義夫 従業員数 工事および商事 50名 工場 20名 計 70名		1月 ロンドン軍縮会議 ● 日本バスケットボール協会設立

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
昭和6年 1931		<ul style="list-style-type: none"> <li>炭鉱向け坑内安全灯用蓄電池充電架台の製作を開始</li> <li>充電架台実用新案取得</li> </ul>	7月 日本卓球協会発足 8月 羽田空港開港 9月 満州事変勃発
昭和7年 1932			1月 上海事変勃発 3月 満州国設立 5月 五・一五事件発生 11月 米国ルーズベルト大統領就任
昭和8年 1933		<ul style="list-style-type: none"> <li>九州帝国大学(現・九州大学)に配電盤納入(大理石盤にナイフスイッチを取りつけた低压配電盤)</li> <li>筑前参宮鉄道(株)(現・西日本鉄道(株)貝塚線)にディーゼル車(新潟鐵工所製)納入</li> </ul>	1月 ドイツヒットラー内閣成立 3月 三陸沖地震発生(死者1,522人) 3月 国際連盟を脱退 12月 日産自動車(株)設立
昭和9年 1934		<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本電気(株)(現・九州電力(株))の委託工事を開始</li> <li>玉屋デパート(福岡)に配電盤納入</li> </ul>	1月 日本製鐵(株)設立 9月 室戸台風
昭和10年 1935	5月 工場移転 所在地:福岡市西堅粕284番地 敷地:300坪	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口県電気局住止変電所建設工事施工</li> <li>三井銀行福岡支店ビルフロアダクト工事施工</li> </ul>	6月 NHK海外放送開始 <ul style="list-style-type: none"> <li>電気工事人取締規則公布</li> </ul>
昭和11年 1936	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本金15万円となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型ビル電気工事第1号として岩田屋デパートの電気工事設計施工を受注し、照明器具も併せて一式納入</li> <li>山口県沖ノ山炭鉱(現・宇部興産)変電所建設工事施工</li> <li>三井鉱山(株)三池染料工業所に低压配電盤納入</li> </ul>	2月 ニ・二六事件発生 2月 全日本職業野球連盟結成 3月 広田内閣成立 11月 国会議事堂完成 <ul style="list-style-type: none"> <li>全国銀行協会設立</li> </ul>
昭和12年 1937	<ul style="list-style-type: none"> <li>西堅粕工場敷地を600坪に買い増す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイバー製電流計および電圧計切替スイッチを開発</li> <li>門司鉄道管理局に分電盤(第1号)を納入</li> </ul>	7月 日中戦争勃発(蘆溝橋事件) 8月 トヨタ自動車工業(株)設立 9月 軍需工場動員法制定 11月 日独伊防共協定調印
昭和13年 1938	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械工場を増設</li> <li>10月27日、本社を福岡市西堅粕284番地へ移転。この日を創立記念日と定める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機部品の製作を始め、九州飛行機(株)の協力工場となる</li> <li>九州帝国大学農学部にて2馬力自動盤を納入</li> </ul>	4月 国家総動員法が公布される 9月 日本電気機器工業組合設立
昭和14年 1939		<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県羽犬塚地区および熊本市の委託工事を開始</li> <li>充電架台の製作販売に関し、日本電池(株)と協定販売する</li> </ul>	4月 日本発送電(株)設立 5月 ノモンハン事件発生 9月 第二次世界大戦勃発
昭和15年 1940	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本金19万円となる</li> </ul>		4月 生活必需品配給制となる(砂糖、マッチ、繊維など) 9月 電力国策要綱作成 9月 日独伊3国同盟成立 11月 大日本産業報国会結成
昭和16年 1941	<ul style="list-style-type: none"> <li>創立20周年(創立記念品を雨宮治郎氏制作)</li> </ul>		4月 日ソ中立条約成立 6月 独・ソ開戦 12月 太平洋戦争勃発
昭和17年 1942	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本金50万円となる 定款(事業目的)変更 1 電気機械器具製作 2 航空機部品製作 3 電気工事設計請負 4 前記各号に関する一切の業務</li> <li>海軍航空本部示達工場となる(海航本機密第15492号)</li> </ul>	12月 陸軍省小倉陸軍病院工事施工 <ul style="list-style-type: none"> <li>陸軍造兵廠小倉工廠に非常停止用押釦スイッチを納入</li> </ul>	4月 米空軍が日本本土初空襲 4月 西日本新聞発刊 4月 九州配電(株)設立(電力会社統合) 9月 企業整備令公布 9月 西日本鉄道(株)発足(5社合併) 11月 関門海底トンネル開通

# 年 表

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
1943 (昭和18)年	2月 株式会社 正興製作所に商号変更 糸島工場を建設 所在地:福岡県糸島郡雷山村篠原878番地 敷地:20,932坪 建屋:1,339坪 5月 資本金100万円となる 5月 西堅粕工場の敷地を約1,800坪に買い増す	<ul style="list-style-type: none"> <li>海軍燃料廠採炭部に切羽用開閉器を開発・納入</li> </ul>	4月 山本五十六元帥戦死 5月 アツ島玉砕 9月 鳥取地震発生(M7.2、死者1,083人) 10月 学徒出陣始まる
1944 (昭和19)年	10月 堅粕第2工場を建設 敷地:709坪 建屋:321坪 12月 軍需省の要請により電気工事を同業他社と合併の上、九州電気工事(株)(現・(株)九電工)として新しく発足		6月 北九州大空襲 7月 東条内閣総辞職 12月 九州電気工事(株)設立(電気工事業者統合) 12月 西日本無尽(現・西日本シティ銀行)発足
1945 (昭和20)年	1月 資本金200万円となる 3月 空襲を避けて八女郡下広川村へ工場疎開を始める 6月 経理部は福岡市浪人谷の土屋社長宅へ疎開 8月 終戦となりほとんどの書類を焼却する 12月 全従業員を解雇し、同日付けにて新規採用する	10月 電気品の修理を開始	3月 東京大空襲 3月 福岡銀行設立(第十七銀行他合併) 5月 ドイツ無条件降伏 6月 福岡大空襲 6月 米軍沖繩上陸 8月 広島、長崎原爆投下 8月 太平洋戦争終結 10月 国際連合発足 11月 財閥解体命令出る
1946 (昭和21)年	2月 占領軍より操業許可(軍需工場より民需工場への転業許可) 3月 (株)日立製作所と標準モーター、変圧器の特約店契約を締結 5月 正興従業員組合結成 6月 堅粕工場に修理工場建設 株式会社 正興商会設立 資本金:50万円 7月 日東電気工業(株)および立正電機製作所の代理店となる	<ul style="list-style-type: none"> <li>分電盤製作開始</li> <li>6月 モーター、変圧器修理開始</li> <li>10月 電気七輪(コンロ)製作開始</li> </ul>	3月 労働組合法施行 3月 物価統制令公布 5月 第一次吉田内閣成立 8月 日本経済団体連合会発足 11月 日本国憲法公布
1947 (昭和22)年	10月 日立サービスステーションの業務を開始する 11月 炭鉱機械の製造工場として福岡商工局より重要工場の指定を受ける(22福岡重工第80794号)	10月 日立製品のモーター、変圧器などの修理および計器用変圧器、変流器の製作開始 11月 炭鉱用防爆形開閉器製作 11月 フロートスイッチ製作 11月 スターデルタ切替スイッチ製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>電力用変成器製作</li> </ul>	3月 電気記念日復活 3月 学校教育法施行 4月 労働基準法公布 5月 新憲法施行 5月 片山内閣成立 7月 独占禁止法実施 8月 古橋廣之進、水泳で世界新記録「フジヤマのトビウオ」
1948 (昭和23)年	1月 前原町の要請により糸島工場の土地、建物を前原町に売却(前原中学校設立のため) 1月 西堅粕工場の土地791坪を売却 8月 資本金260万円となる 定款(目的)変更 1 電気機械器具の製作修理 2 農機具の製作修理 3 精密機械部品製作加工 4 前記各号に関する一切の業務 9月 社団法人 日本電機工業会に入会	<ul style="list-style-type: none"> <li>炭鉱用大型モーター300HPまでの捲替修理実施</li> <li>米軍基地用配電盤納入</li> </ul>	4月 世界保健機関(WHO)設立 5月 社団法人 日本電機工業会設立 8月 大韓民国独立 9月 第二次吉田内閣成立
1949 (昭和24)年	<ul style="list-style-type: none"> <li>不況が深刻となり仕事がなく賃金の遅配欠配が続く。遂に14名の人員整理を行う</li> <li>9月 商号を株式会社 正興製作所より「株式会社 正興商会」に変更、同時に昭和21年7月設立の(株)正興商会を吸収合併する</li> <li>資本金310万円となる                定款(目的)変更                1 電気機械器具の製作修理                2 精密機械部品製作加工                3 電気機械器具並びに材料販売                4 諸機械器具販売                5 前記各号に関する一切の業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株)日立製作所より炭坑用配電函の下請生産開始</li> <li>油入遮断器 S型開発(3,300V 手動操作)</li> <li>建設省(現・国土交通省)の配電盤、制御盤、分電盤の指名に入る</li> </ul>	2月 第三次吉田内閣成立 2月 ドッジライン発表 1ドル 360円 4月 NATO発足 6月 日本工業規格(JIS)制定 6月 日本国有鉄道(JNR)設立 10月 中華人民共和国成立 11月 湯川秀樹博士ノーベル物理学賞受賞
1950 (昭和25)年	8月 建設業登録をする(福岡県知事イ2406号) 9月 電気工事を再開 11月 定款(目的)追加 電気工事設計請負	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外油入形取引用変成器(PCT)開発</li> <li>双投形断路器製作</li> </ul>	3月 世界気象機関(WMO)発足 6月 朝鮮戦争勃発 7月 警察予備隊(現・自衛隊)創設

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
(昭和26年) 1951	10月 創立30周年 ● 熊本阿蘇へ一泊旅行 12月 資本金620万円となる		5月 9電力会社発足 9月 サンフランシスコ講和条約調印 9月 日米安保条約調印
(昭和27年) 1952	3月 資本金1,000万円となる ● 西日本鉄道(株)、九州電気工事(株)より出資を受ける 4月 (株)日立製作所と特約店契約	● 電気ビルに受電設備一式納入	3月 十勝沖地震発生(M8、死者28人) 7月 警察予備隊を保安隊に改組 8月 日本電信電話公社発足 9月 電源開発(株)設立
(昭和28年) 1953	7月 福岡労働基準監督署長賞を受賞(産業安全成績優良のため) 7月 集中豪雨のため熊本の白川および久留米の筑後川大洪水が発生。送電線復旧工事協力により九州電力(株)福岡支店長より感謝状を受ける	● 東邦生命ビルに受電設備一式納入	2月 NHKテレビ放送開始 6月 北部九州豪雨発生 7月 朝鮮戦争休戦協定調印 12月 奄美群島返還
(昭和29年) 1954	12月 修理工場乾燥炉より出火し、変電所他250㎡を焼失する(12月19日20時30分)	6月 平和台球場ナイター設備工事一式納入し、西日本鉄道(株)より感謝状を受ける ● 九州電力(株)苅田発電所1号機電気設備納入および施工	5月 厚生年金保険法施行 6月 防衛庁自衛隊発足 7月 海外貿易会(JETRO)発足 12月 鳩山内閣成立 ● 「三種の神器」流行(テレビ、洗濯機、冷蔵庫) ● 大型台風来襲(5・12・13・15号)
(昭和30年) 1955	7月 修理工場(鉄筋2階建)建設 九州電力(株)より機械器具一式の譲渡を受ける	8月 九州電力(株)よりの変圧器、レギュレータ修理の受注を開始 8月 (株)日立製作所と「油入遮断器に関する技術援助契約」を締結する ● 九州電力(株)相浦火力発電所に照光式監視盤を納入 ● 配電電圧6kV昇圧工事が始まり、関連機器改修に着手	2月 日本生産性本部発足 6月 日本ガット(GATT)加入 8月 初のトランジスタラジオ発売 7月 経済企画庁発足 11月 自由民主党発足 12月 原子力三法公布 ● 「神武景気」
(昭和31年) 1956	1月 鹿児島営業所開設 5月 北九州営業所開設 10月 創立35周年記念式典(於福岡市記念館)	● 九州電力(株)に半自動化変電所配電盤他を納入する	1月 原子力委員会発足 4月 日本道路公団設立 5月 科学技術庁発足 11月 メルボルンオリンピック開催 12月 石橋内閣成立 12月 国連総会日本加盟可決 12月 日ソ国交回復共同宣言発効
(昭和32年) 1957	3月 資本金2,000万円となる 12月 西堅粕の土地340坪を買い増し1,355坪となる	● 九州電力(株)佐世保変電所に屋外油入遮断器14台他変電機器を納入する	1月 岸内閣成立 7月 諫早大水害(死者586人) 8月 東海村の原子炉点火 10月 ソ連世界初の人工衛星打ち上げに成功 10月 スエズ戦争勃発 11月 日本原子力発電(株)発足
(昭和33年) 1958	4月 開発、改善提案制度導入 6月 (株)日立製作所より出資を受ける 11月 土屋 直幹 代表取締役会長に就任 臺 清一 代表取締役社長に就任		1月 米人工衛星打ち上げ 3月 関門国道トンネル開通 9月 集積回路(IC)の開発 12月 東京タワー完成
(昭和34年) 1959	● 九州電力(株)新小倉発電所から147面の大口受注に対し新工場建設を検討 5月 福岡県古賀町に工場建設用地として4,311坪を購入 7月 真藤慎太郎氏相談役就任 9月 (株)日立製作所の計測器特約店となる 10月 資本金4,000万円となる	● 九州電力(株)新小倉発電所 440Vパワーセンター 21面 220Vコントロールセンター 126面の大口受注決定 9月 炭坑用防爆形電源変圧器を開発 9月 九州電力(株)武雄変電所に超高压変電所総括監視制御盤を納入	1月 メートル法施行 3月 九州地方開発促進法公布 4月 皇太子明仁殿下御成婚 9月 伊勢湾台風 ● 「岩戸景気」 ● マイカー時代到来
(昭和35年) 1960	2月 株式会社 正興電機製作所と商号を変更、同時に従来の商事部門は株式会社 正興商会として分離独立(2月1日) 3月 古賀工場用地2,857坪を追加購入 9月 中国営業所(広島市)開設 11月 新工場竣工(古賀町) ● 創立39周年記念および新工場竣工記念の家族慰安運動会開催(古賀西小学校) ● 資本金8,000万円となる 12月 工事を分離し、正興電気建設(株)として独立 12月 古賀工場落成披露	● 八幡製鐵(株)八幡製鐵所に変圧器二次低圧キュービクルを登録第1号として納入 ● 福岡市「天神ビル」にメタルクラッド他26面およびグラフィックパネル付中央監視制御盤を納入 ● 九州電力(株)新菅原発電所にプログラムコントロール納入(第1号)	6月 カラーテレビ放送開始 7月 池田内閣成立 8月 ローマオリンピック開催 12月 池田内閣、国民所得倍増計画を決定

# 年表

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
1961 (昭和36年)	<p>3月 本社を古賀町に移転</p> <p>4月 独身寮完成(清和寮)</p> <p>6月 福岡営業所を福岡市網場町「福岡第一ビル」に開設する</p> <p>7月 <b>第二工場完成</b> 堅粕工場に残存中の修理部門もすべて古賀工場に移転完了</p> <p>10月 創立40周年記念式典にあたり従業員組合より土屋直幹会長へ胸像を贈呈</p>	<p>5月 (株)日立製作所と「配電盤および器具の販売および製作に関する協定書」を締結</p> <p>12月 コントロールスイッチU形およびM形を開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州電力(株)新小倉発電所1号機 パワーセンター 21面</li> <li>コントロールセンター 126面を納入</li> <li>若戸大橋受電設備納入</li> </ul>	<p>1月 米国ケネディ大統領就任</p> <p>4月 ソ連初の有人宇宙飛行(ガガーリン少佐)</p> <p>4月 九州山口経済連合会結成(初代会長 安川第五郎)</p> <p>9月 経済協力開発機構(OECD)設立</p> <p>11月 水資源開発促進法公布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民皆保険・皆年金制度発足</li> </ul>
1962 (昭和37年)	<p>1月 東京営業所開設</p> <p>4月 <b>資本金1億2千万円となる</b></p> <p>6月 山崎宮市氏顧問に就任</p> <p>7月 <b>第三工場(機械部門)完成</b></p> <p>8月 研究室完成</p> <p>11月 三共(株)より同社鳥栖工場納めの配電盤の件にて表彰を受ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントロールスイッチU形・M形の市販開始</li> <li>九州電力(株)二鳥変電所に押ボタン選択制御方式総括制御盤を納入</li> <li>九州電力(株)に無人変電所(スーパービジョン)第1号を納入 (長崎銭座変電所(親)-飯橋変電所(子))</li> <li>NHK熊本放送会館に制御盤60面を納入</li> </ul>	<p>8月 堀江謙一氏、ヨットで太平洋横断に成功</p> <p>9月 日本道路公団若戸大橋開通</p> <p>10月 キューバ危機起こる</p>
1963 (昭和38年)	<p>2月 大阪営業所開設</p> <p>2月 九州電力(株)新小倉発電所建設所長より納入配電盤にて表彰を受ける</p> <p>9月 <b>年間売上高10億円突破(59期)</b></p> <p>9月 古賀落合社宅完成(18戸)</p> <p>11月 臺 清一 代表取締役社長退任</p> <p>11月 <b>土屋 直幹 代表取締役会長兼社長就任</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外乾式取引用高圧変成器(PCT)開発</li> <li>メグタ(N形)製作開始</li> <li>端子台(ST・MT形)製作開始</li> <li>西日本共同火力(株)苅田発電所 パワーセンター 38面</li> <li>コントロールセンター 89面を納入</li> <li>日本専売公社(現・日本たばこ産業(株))米子工場に制御盤を納入</li> </ul>	<p>2月 北九州市発足</p> <p>11月 ケネディ大統領暗殺される</p> <p>11月 米国~日本間初のテレビ宇宙中継</p> <p>11月 三井三池炭鉱大爆発事故発生</p> <p>12月 新博多駅開業(出来町から移転)</p>
1964 (昭和39年)	<p>3月 社内報「正興」創刊号発刊</p> <p>3月 西日本共同火力(株)苅田発電所所長より納入配電盤にて表彰を受ける</p> <p>3月 RKB他民放共同の大牟田サテライト局より納入配電盤にて表彰を受ける</p> <p>5月 土屋 直幹 社長を退任し、代表取締役会長に専任</p> <p>5月 <b>土屋 巖 代表取締役社長就任</b></p>	<p>4月 配電線故障区間検出装置(EM)を開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州石油(株)大分製油所に高圧電動機制御コンプレッションを35面納入</li> <li>博多ステーションビルに制御盤一式を納入</li> </ul>	<p>6月 新潟大地震発生(死者26人)</p> <p>7月 電気事業法公布</p> <p>10月 東海道新幹線(東京~大阪)開通</p> <p>10月 東京オリンピック開催</p> <p>11月 佐藤内閣成立</p> <p>11月 公明党結成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本がOECDに加盟</li> </ul>
1965 (昭和40年)		<p>5月 シャフトレス操作開閉器(A形)を開発 日・米特許出願</p>	<p>1月 英国チャーチル氏死去</p> <p>6月 日韓基本条約締結</p> <p>10月 朝永振一郎氏ノーベル物理学賞受賞</p> <p>11月 ベトナム戦争勃発</p>
1966 (昭和41年)	<p>1月 本社を福岡県古賀町より福岡市網場町福岡第一ビルに移す</p> <p>4月 顧問 奥村茂敏氏逝去(4月26日)</p> <p>9月 <b>短絡遮断試験設備完成(遮断容量250MVA)</b></p> <p>10月 創立45周年記念行事(別府一泊旅行)</p> <p>11月 日本専売公社(現・日本たばこ産業(株))鹿児島地方局長より納入製品優良により表彰を受ける</p> <p>12月 アミクラ商標・意匠登録申請</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャフトレス操作開閉器(B形)を開発</li> <li>日本専売公社(現・日本たばこ産業(株))鹿児島工場および三重工場にスレッシャー制御盤98面および集中監視制御盤(使用リレー数1,000個)を納入</li> <li>呉市役所水道局に上水道制御盤(3,000人用設備)を納入(上水制御盤第1号)</li> <li>徳山市役所に下水処理用制御盤(5,000人用設備)を納入(下水制御盤第1号)</li> <li>九州電力(株)清滝変電所にアミクラを納入(第1号)</li> </ul>	<p>2月 ソ連月ロケット月面軟着陸成功</p> <p>6月 国民の祝日法改正 「敬老の日」9月15日新設 「体育の日」10月10日新設 中国で「文化大革命」起こる</p> <p>8月 中国で「建国記念の日」を2月11日に制定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いざなぎ景気」</li> </ul>
1967 (昭和42年)	<p>4月 四国営業所開設(高松市)</p> <p>10月 九州電力(株)大岳地熱発電所より感謝状を受賞</p> <p>10月 福岡労働基準局長より労働衛生努力賞を受賞</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>麒麟麦酒(株)福岡工場に制御盤を納入</li> <li>九州電力(株)大岳地熱発電所に耐硫黄性エアパーズ式メタルグラッド、コントロールセンター一式を納入</li> <li>九州電力(株)西福岡変電所にワイヤースプリングリレー式照光監視制御盤納入</li> <li>四国電力(株)の配電盤指定メーカーに登録される</li> </ul>	<p>3月 日本総人口1億人突破</p> <p>7月 西日本(羽越)豪雨発生(死者行方不明者365人)</p> <p>8月 公害対策基本法公布</p> <p>10月 吉田茂元首相死去(国葬)</p> <p>12月 佐藤首相「非核3原則」言明</p>
1968 (昭和43年)	<p>3月 九州電力(株)天神変電所事故復旧作業にて感謝状を受ける</p> <p>6月 <b>創業者 土屋 直幹会長逝去</b> (6月19日81歳) 福岡市博多区承天寺にて社葬</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>端子台(SA・MA形)製作開始</li> <li>ヒューズスイッチ(US形)開発 商品名 ユニカット</li> <li>大阪府岸和田市に下水処理システム(500,000人設備)一式を納入</li> </ul>	<p>1月 東京大学紛争始まる</p> <p>2月 えびの地震発生(死者3人)</p> <p>6月 小笠原諸島日本に復帰</p> <p>8月 ソ連軍チェコ侵攻</p> <p>10月 メキシコオリンピック開催</p> <p>12月 3億円強奪事件</p> <p>12月 川端康成氏ノーベル文学賞受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本のGNP世界第2位に躍進</li> </ul>

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
昭和44年 1969	3月 名古屋営業所開設 8月 通産省(現・経済産業省)よりユニカット型式認可取得 9月 年間売上高20億円突破(65期) 11月 建設業登録(福岡県知事カ4379号) 12月 定款(目的)変更 1 電気機械器具製作並びに精密機械部品の製作、加工、修理および販売 2 電気機械器具の設置工事 3 前記各号に関する一切の業務	5月 日本道路公団関門橋に高圧電源設備納入 6月 西日本鉄道(株)久留米駅に高低圧受電設備一式納入 6月 山口県企業局木屋川発電所にプログラムコントロール盤一式納入 11月 財団法人化血研熊本工場に製薬制御盤200面納入	5月 東名高速道路開通 7月 米国アポロ11号、人類初の月面着陸に成功
昭和45年 1970	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器工場を新設(第二工場に併設)</li> <li>● 社是制定 「最良の製品を以て社会に貢献す」</li> <li>● ユニカットが第15回全国優良電設資材展にて関東電気保安協会理事長賞を受ける</li> <li>● 製缶工場を新設</li> <li>● 独身寮を一棟増設</li> <li>● 東京機器営業所を開設</li> <li>● 新鋭塗装設備完成</li> <li>● 福岡労働基準局長賞を受賞(労働衛生優良工場)</li> <li>● 正興代理店会(制御機器販売)発足(代理店数 14店)</li> </ul>	3月 中国電力(株)新鳥取変電所に2挙動式群個別選択式監視制御盤一式納入 4月 九州電力(株)大濠変電所に磁気遮断器収納メタクラを12面納入 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新日本製鐵(株)八幡軌条工場に高圧モーター制御コンビネーション56面納入</li> </ul>	2月 日本初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ 3月 大阪万国博覧会開催 3月 八幡、富士製鐵が合併し新日本製鐵(株)発足 3月 「よど号」ハイジャック事件(福岡空港)
昭和46年 1971	1月 相談役 真藤慎太郎氏逝去(1月11日) 3月 古賀工場隣接地2,000㎡を購入 6月 創業者土屋直幹の胸像を50周年記念に工場中庭に建立 6月 日立営業所開設 9月 テレックス設置 10月 創立50周年式典 1 祝賀パーティ(来賓300名) 於西鉄グランドホテル 2 社員、家族慰安会 於博多プレイ・ランド 3 独身寮横に記念としてパレー・テニスコートオープン	8月 キュービクル式高圧受電設備の日本電気協会全国推奨品認定を取得(推奨No162号) 12月 新形油入遮断器(CEG形)で(株)日立製作所と製作販売協定調印 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大分共同火力(株)にコントロールセンター一式納入</li> <li>● 道路公団北九州バイパスに受電設備およびプログラム制御盤を一式納入</li> <li>● (株)日立製作所大みか工場へ制御コンピュータ技術修得のため社員3名を派遣</li> </ul>	1月 グボス会議(世界経済フォーラム)発足 6月 沖縄返還協定調印 7月 環境庁(現・環境省)発足 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 初のマイクロプロセッサ登場</li> </ul>
昭和47年 1972	4月 電算室を開設 5月 沖縄連絡所を開設 6月 九州電力(株)苅田発電所2号機納入品関係にて表彰を受ける 9月 福岡労働基準局長より労働衛生努力賞を受ける 10月 (株)東光サービスを設立	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通産省(現・経済産業省)のPCB使用禁止令に全面的に対策</li> <li>● 電源開発(株)の登録会社となり、竹原火力発電所にバーナー制御盤他納入</li> <li>● サイクリック式単線リレーを開発し、徳島県立病院に監視制御盤一式と共に納入</li> </ul>	1月 浅間山荘事件発生 2月 札幌冬季オリンピック開催 3月 山陽新幹線(大阪〜岡山)開通 3月 通商産業省PCB使用禁止を通達 4月 福岡市が政令指定都市となる 5月 沖縄電力(株)発足 5月 沖縄本土復帰(沖縄県発足) 6月 日本列島改造論 7月 田中内閣成立 9月 日中国交回復 11月 下水道事業センター(現・日本下水道事業団)設立
昭和48年 1973	9月 資本金1億5千万円となる 11月 土屋 正直 代表取締役社長就任 前社長、土屋 巖相談役就任 12月 制御盤工場新設(2,910㎡)	2月 鹿児島市役所より直入札にて終末処理場電気設備受注(環境処理施設官庁直契約第1号) 4月 九州電力(株)から変電所総合自動化で嘉穂制御所の内示を受ける(コンピュータによる自動化第1号) 4月 玄海サイロ(株)にサイロおよび飼料搬送コンベアグラフィック制御盤一式納入 6月 海外輸出プラント第1号 ベトナムカントー火力発電所へパワーセンター他納入(丸紅経由) 6月 コントロールセンター第三次製品開発	1月 ベトナム和平協定調印 2月 円の変動相場制導入 7月 資源エネルギー庁発足 10月 第4次中東戦争勃発(第1次オイルショック) 10月 江崎玲於奈氏ノーベル物理学賞を受賞 11月 関門橋開通
昭和49年 1974	3月 神戸出張所開設 4月 物価高騰 大幅賃上げ実施 8月 九州電力(株)川内発電所建設にあたり表彰を受ける 9月 沖縄連絡所閉鎖 10月 正興エンジニアリングサービス(株)を設立	5月 九州電力(株)大平湯水発電所に発電機監視制御盤一式納入 6月 沖縄電力(株)に沖縄海洋博覧会用電源設備、監視制御設備一式を納入 10月 日産自動車(株)九州工場にE級閉鎖形配電盤、パワーセンター納入 10月 韓国カシムプラントに コントロールセンター 193面 デスク盤 20面 高圧コンビネーション 32面 の大口輸出品納入(株)神戸製鋼所経由) ブラジルウジミナス製鉄所に双投形低圧直流大電流開閉器18台納入(新日鐵(株)工作事業所経由)	6月 国土庁(現・国土交通省)発足 10月 佐藤栄作氏ノーベル平和賞を受賞(非核三原則の国是化) 11月 米国フォード大統領来日 11月 田中内閣退陣 12月 三木内閣成立 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 戦後初のマイナス成長</li> </ul>

# 年表

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
1975 (昭和50年)	2月 VA室発足、VA委員会設置 4月 <b>短絡遮断試験設備能力を更新する</b> (遮断容量350MVA) 5月 週休2日制(週40時間)導入 7月 <b>資本金2億円となる</b> 9月 <b>年間売上高50億円突破(71期)</b> 10月 ゼロ災害安全宣言 10月 定款(目的)変更 1 電気機械器具製作並びに精密機械 部品の製作、加工、修理および販売 2 電気機械器具の設置工事 3 電気工事 4 前記各号に関連する一切の業務	3月 九州電力(株)嘉穂制御所に計算機システム 一式納入 4月 コントロールセンター用丸形ハンドルを開発 9月 建設省(現・国土交通省)関東地建川治ダムに 砕石プラント制御盤一式納入(株)神戸 製鋼所経由) 9月 韓国カシミアプラントにコントロールセン ター他納入 9月 西日本新聞会館に配電盤他20面納入 この年、大口ビルとして ・福岡銀行本店ビル ・岩田屋新館ビル ・天神コアビル が完成し、それぞれ受電盤、制御盤納入	3月 山陽新幹線(岡山～博多)開通 5月 エリザベス女王来日 7月 沖縄海洋博開催 9月 天皇陛下初訪米 11月 第1回先進国首脳会議開催 (ランブイエ・サミット) 12月 ベトナム戦争終結
1976 (昭和51年)	6月 古賀工場内に九州配電盤工業会(会長 土 屋正直)加熱試験炉設置 (消防法による耐熱分電盤試験用) 7月 ZD運動キックオフ宣言 10月 <b>創立55周年記念式典</b>	9月 九州高圧コンクリート(株)にコンクリート柱 の足場ソケット(樹脂成形品)納入 10月 漏れリレー(GD形)開発 12月 九州電力(株)豊前火力発電所に排煙脱硫装 置メタクラ、パワーセンター納入	1月 中国 周恩来首相死去 2月 ロッキード事件発生 9月 中国 毛沢東主席死去 9月 福岡市天神地下街開業 12月 福田内閣成立 ● 筑豊炭田の開山(貝島炭鉱開山が最後)
1977 (昭和52年)	1月 九州電力(株)相浦発電所2号機増設に関し て表彰される 5月 営業部施設課(電気工所用盤)業務を(株)正 興商会に移管する 5月 日立市に日立営業所および社宅を新築する 6月 川崎製鐵(株)千葉製鐵所第6溶鉱炉および 関連設備建設で表彰を受ける 9月 理事、参事制度制定 9月 九州電力(株)城山変電所火災事故復旧作業 に関し表彰を受ける 12月 (株)東光サービスを正興福利サービス(株)に 商号変更	1月 北九州エル・エヌ・ジー(株)に液化天然ガス 荷役センター用パワーセンター、コントロ ールセンター一式を納入 4月 柱上気中開閉器(EMA形)開発 4月 九州電力(株)鴨池変電所に人工接地装置お よびリレーチェック装置を開発、納入 10月 川崎製鐵(株)の標準規格品にコントロ ールセンターが採用され千葉製鐵所に第1号納入 12月 電源開発(株)松島火力発電所に電源設備 一式納入 ・池袋サンシャイン60に低圧主幹盤40面 を納入(ユニカット、メグタ全面採用) ・沖縄電力(株)恩納変電所に高圧キュービク ル、監視制御盤9面納入	7月 ニューヨーク大停電 8月 文化大革命終結 9月 円高ドル安傾向となる 1ドル=180円 9月 巨人軍 王 貞治選手が本塁打世界 最高記録を樹立(756本) ● 新信濃周波数変換所運用開始(東西 連携)
1978 (昭和53年)	1月 減量経営方針に基づく人員目標(520名) を達成 2月 福利厚生として古賀町に花鶴クラブが完成 古賀町下水処理場納め制御盤にて表彰を 受ける 7月 新日本製鐵(株)戸畑製造所に高炉集塵制御 装置(マイコン制御)を納入し表彰を受ける 古賀工場に健康管理室を開設	1月 古賀町に下水処理設備(60,000人分)用 制御盤一式納入 ・水処理関係 127面 ・汚泥処理関係 80面 12月 主回路端子台(HA形)製作開始 12月 真空遮断器(CVG-15)を開発	5月 東京新国際空港(成田)開港 5月 福岡市水飢饉発生(287日間) 8月 日中平和友好条約調印 12月 大平内閣成立
1979 (昭和54年)	4月 電算室コンピュータをHITAC-L340に機能 アップ更新 8月 企業年金制度を導入 12月 九州電力(株)新小倉発電所3号機および4号 機の新設工事に関し表彰を受ける 12月 労働関係優良企業として労働大臣賞を受賞	3月 九州電力(株)中央変電所500kV監視制御シ ステム一式納入 ● レール式制御端子台(RA形)製作開始 ● 福岡市子ども病院にデータロガー付電力 監視制御盤納入	1月 米中国交正常化 2月 イラン革命起こる(第2次オイルショック) 3月 米国スリーマイル島原子力発電所事 故発生 5月 英国サッチャー首相就任 6月 東京サミット開催 12月 ソ連、アフガニスタンへ侵攻
1980 (昭和55年)	2月 沖縄事務所開設 3月 コントロールセンター用「自動スポット溶接 機」が発明協会九州支部の発明特賞を受賞 元社長 臺 清一逝去(5月28日) 積善社福岡斎場にて社葬(6月2日) 6月 九州電力(株)中央変電所新築工事にて表彰 を受ける 7月 <b>資本金2億5千万円となる</b> 7月 顧問 山崎宮市氏逝去(7月1日) 10月 中期3か年計画開始、スローガン“アタック100” に決定 10月 シンガポール駐在員事務所開設	3月 九州電力(株)各変電所に納入のアミクラが 2,000面突破(昭和41年9月～55年3月) ● 集中制御自動化および自所情報処理装置SR 盤を開発し九州電力(株)弓削制御所に納入 ● 新宮町原上浄水場にマイコンによる監視 制御盤納入	6月 太平首相死去 7月 鈴木内閣成立 7月 モスクワオリンピック大会(日本はボ イコット) 9月 イラン・イラク戦争勃発 ● 自動車生産台数世界一位となる

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
昭和56年 1981	<ul style="list-style-type: none"> <li>創立60周年記念として社有地福岡市博多区東光に本社ビル建設着工</li> <li>4月 職能資格制度を制定</li> <li>5月 正興電機労働組合結成35周年記念式典</li> <li>10月 <b>創立60周年</b></li> <li>10月 (株)正興エンタープライズを設立</li> <li>10月 中高年齢者雇用優良事業所として県知事賞を受賞</li> <li>10月 佐賀事務所を開設</li> <li>11月 <b>本社本館ビル竣工</b>(11月6日)</li> <li>12月 定年退職者の会「正友会」発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エチオピア国立紡績会社に高低圧受変電設備一式納入</li> <li>九州電力(株)上津役制御所に集中自動化および自所情報処理装置(マイコン式)納入</li> <li>沖縄電力(株)安和変電所に高圧キュービクル、監視制御盤を8面納入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 米国レーガン大統領就任</li> <li>4月 スペースシャトルの初打ち上げ</li> <li>7月 福岡市営地下鉄が開業</li> <li>10月 福井謙一氏ノーベル化学賞を受賞</li> </ul>
昭和57年 1982	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 資材部にVAセンター設置</li> <li>3月 佐賀、神戸、沖縄事務所を出張所に昇格</li> <li>3月 東京機器営業所を東京営業所に統合</li> <li>5月 土屋正直社長、(株)日本電機工業会の「永年功績賞」を受賞</li> <li>5月 PR映画「制御技術に生きる」を製作</li> <li>7月 長崎地方大水害に義援金を贈る</li> <li>10月 佐賀出張所を営業所に昇格</li> <li>10月 制御機器部門を分離し(株)正興機器製作所を設立</li> <li>11月 土屋正直社長、(株)日本配電盤工業会副会長兼九州支部長に就任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 西部瓦斯(株)技術研究所にマイコンによる試験装置納入</li> <li>3月 シンガポール、セノコ火力発電所にコントロールセンター33面納入</li> <li>7月 中国電力(株)倉敷電力所にテレコンシミュレータ装置12セット納入</li> <li>10月 九州電力(株)新宮変電所に縮小形アミクラ第1号納入</li> <li>12月 長崎県有明町役場マイコン(SEMIC)監視によるデータロガー納入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月 東北新幹線(大宮～盛岡)開業</li> <li>7月 中国が日本の歴史教科書を問題化</li> <li>7月 参議院に比例代表制を導入</li> <li>11月 中曽根内閣成立 <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道夕張炭鉱閉山</li> </ul> </li> </ul>
昭和58年 1983	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 エネルギー管理優良企業として福岡通産局長賞(現・九州経済産業局長賞)を受賞</li> <li>10月 正興ソフトウェアエンジニアリング(株)を設立</li> <li>11月 正興福利サービス(株)を正興福産(株)に商号変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 九州電力(株)川内原子力発電所1号機に原子力QC管理によるコントロールセンター納入</li> <li>2月 九州電力(株)佐賀変電所に110/66kV送電線用事故復旧装置第1号納入</li> <li>3月 川崎製鐵(株)阪神製造所にマイコン(SEMIC)式鋼材張力測定演算装置納入</li> <li>7月 リビア・ミスラダ製鐵所にコントロールセンター67面納入</li> <li>10月 九州電力(株)各変電所に、変圧器二次地絡検出装置を開発納入(後に遊澤賞受賞) <ul style="list-style-type: none"> <li>簡易水道ロガー装置開発</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 日本道路公団中国自動車道全線開通</li> <li>4月 東京ディズニーランド開業</li> <li>9月 大韓航空機サハリン沖でソ連空軍に撃墜され乗客269人(日本人28人含)全員死亡</li> <li>10月 三宅島で大噴火、約300世帯被災</li> <li>10月 ロッキード裁判で田中角栄元首相に実刑判決</li> <li>11月 米国レーガン大統領来日</li> <li>11月 第2次中曽根内閣成立、新自由クラブと連立 <ul style="list-style-type: none"> <li>男女の平均寿命が世界一となる</li> </ul> </li> </ul>
昭和59年 1984	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 親戚会入会</li> <li>3月 (株)正興製作所に資本参加</li> <li>5月 「変電所用縮小型監視制御装置」を開発し九州電気協会賞を受賞</li> <li>11月 健康管理優良事業場として社会保険庁賞を受賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 九州電力(株)各変電所にモジュール式送電線用自動復旧装置を納入</li> <li>8月 中国電力(株)広島、岡山変電所にYHP製コンピュータを使用した変電所集中制御システム納入</li> <li>9月 ICウェハーエッチング製造ライン制御装置を40セット納入(株)日立製作所笠戸工場経由)</li> <li>10月 アメリカRCA社ヘカラーブラウン管製造ライン制御システム一式を納入</li> <li>10月 メカトロニクス製品 <ul style="list-style-type: none"> <li>ガラス研磨機</li> <li>竹割加工ライン</li> </ul> </li> <li>11月 佐賀県嬉野町役場にマイコン(SEMIC)式水処理集中監視記録システムを開発納入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 三井三池有明鉱山火災により83人死亡</li> <li>3月 グリコ事件発生</li> <li>5月 衛星放送開始</li> <li>7月 ロサンゼルスオリンピック開催</li> <li>ソ連、東欧勢不参加</li> <li>12月 中国と英国が1997年に香港返還合意</li> </ul>
昭和60年 1985	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 ソフト開発グループを新設し、(株)日立製作所ソフトウェア工場に研修社員21名を派遣</li> <li>5月 大森顧問(前副社長)が(株)日本電機工業会より永年功績賞を受賞</li> <li>5月 電算室コンピュータをHITAC-M220Hに機能アップ更新</li> <li>7月 熊本事務所を開設</li> <li>9月 <b>売上高100億円突破</b>(81期)</li> <li>10月 (株)正興機器製作所の新工場が完成し移転(福岡県古賀町青柳)</li> <li>12月 定款(目的)追加 <ol style="list-style-type: none"> <li>電子機械器具の製作販売</li> <li>ソフトウェアの製作販売</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 福岡市役所田島ポンプ場に受変電設備他一式を納入(直受注)</li> <li>4月 情報系の汎用コンピュータ開発事業を開始(株)日立製作所からワークステーション基本ソフトウェア開発の受託開始</li> <li>6月 九州電力(株)軸丸発電所にマイコン(SEMIC)と情報伝送装置を組み合わせたデータロガー装置納入</li> <li>9月 住友ベークライト(株)にプリント基板研磨装置およびモニタリング装置納入</li> <li>9月 (株)佐賀鉄工所に熱処理および炉周辺搬送溶解設備一式納入</li> <li>9月 動力炉核燃料事業団東海事業所にベレット製造工程制御システム一式納入</li> <li>12月 九州電力(株)神野変電所に複合絶縁開閉装置を開発納入 <ul style="list-style-type: none"> <li>ICウェハー研磨機を納入</li> <li>プリント基板研磨機を開発する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 筑波国際科学技術博覧会開催</li> <li>3月 青函トンネルが着工21年目に貫通</li> <li>4月 日本専売公社・日本電信電話公社を民営化</li> <li>8月 日航ジャンボ機が御巣鷹山に墜落</li> <li>死者520人</li> <li>8月 台風13号来襲(死者行方不明者31人)</li> </ul>

# 年表

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
昭和61年 1986	<p>4月 「ダム水門自動制御装置」に関して九州電気協会より受賞</p> <p>4月 定期健康診断開始</p> <p>5月 正興電機労働組合結成40周年</p> <p>6月 熊本事務所を営業所に昇格</p> <p>8月 土屋正直社長、福岡エレコン交流会会長に就任</p> <p>9月 <b>制御盤工場および設計室の増設完了</b></p> <p>9月 立体自動倉庫を導入</p> <p>10月 創立65周年記念として本社敷地内に時計塔を設置</p> <p>10月 「変圧器二次地絡検出装置」が「滋澤賞」を受賞</p>	<p>3月 川崎製鐵(株)千葉製鐵所の還元炉関係制御装置一式を納入</p> <p>5月 九州電力(株)小国水力発電所に予防保全装置を開発し納入</p> <p>10月 徳力精工(株)にプリント基板研磨装置第1号機納入</p> <p>11月 九州電力(株)各変電所に納入したアミクラが4,000面突破</p>	<p>4月 ソ連チェルノブイリ原子力発電所で大規模事故が発生</p> <p>4月 男女雇用機会均等法施行</p> <p>5月 東京サミット開催</p> <p>11月 大島三原山が209年ぶりに大噴火</p>
昭和62年 1987	<p>4月 土屋正直社長が「経営者賞」を受賞(九州山口地域経済貢献者顕彰財団)</p> <p>10月 宮崎営業所を開設</p> <p>11月 設計部に光ファイリングシステムを導入</p> <p>11月 厚生関係優良企業として厚生大臣賞を受賞</p> <p>11月 企画室を新設</p>	<p>3月 長崎県上県町役場に簡易水道向けSML-100とパソコン組み合わせによる監視システム1号機納入</p> <p>4月 (株)日立製作所から汎用コンピュータのシステムエンジニア業務の受注開始</p> <p>8月 (株)佐賀鉄工所に熱処理炉原料投入制御装置を開発納入</p>	<p>4月 国鉄分割民営化(JRグループ 7社)発足</p> <p>7月 首都圏大停電(電力需要の急増)</p> <p>10月 竹下内閣成立</p> <p>10月 「連合」結成発足(日本労働組合総連合会)</p> <p>11月 新興工業国(NICS)製品日本上陸</p> <p>12月 利根川進氏ノーベル生理学・医学賞受賞</p>
昭和63年 1988	<p>3月 <b>決算期9月末日を3月末日に変更する</b></p> <p>3月 <b>資本金4億2,500万円となる</b></p> <p>3月 沖縄出張所を営業所に昇格</p> <p>4月 「事故メッセージ伝送装置」が九州電気協会より表彰</p> <p>5月 監査室を新設</p> <p>8月 情報システム事業部を新設</p> <p>10月 宮崎出張所を営業所に昇格</p> <p>11月 従業員持株会が発足</p>	<p>2月 沖縄電力(株)久米島発電所に監視制御装置、高圧キュービクル17面納入</p> <p>3月 沖縄電力(株)平安座発電所の本島向送電用13.8kVメタクラを初受注</p> <p>3月 沖縄電力(株)城間第1変電所に高圧キュービクルおよび監視制御盤を13面納入</p> <p>4月 西部ガス情報システム(株)からシステムエンジニアリング業務および業務プログラム開発の受託開始</p> <p>5月 ソ連ラジオ省に工場廃水処理施設用コントロールセンター35面他納入</p> <p>8月 九州電力(株)各営業所に柱上自動ガス開閉器を開発納入</p> <p>9月 九州電力(株)大分制御所に制御所用訓練シミュレータを開発納入</p> <p>10月 (株)日立製作所から銀行業務(勘定系)プログラム開発の受託開始</p> <p>11月 アジア太平洋博覧会協会に博覧会用受変電設備納入</p> <p>12月 電話回線利用小規模データ収集伝送装置を開発</p>	<p>3月 青函トンネルJ R津軽海峡線開業</p> <p>4月 瀬戸大橋開通</p> <p>4月 牛肉、オレンジ自由化</p> <p>6月 リクルート事件発生</p> <p>9月 ソウルオリンピック開催</p>
昭和64年 平成元年 1989	<p>1月 土屋正直社長、日刊工業新聞社から「地域社会貢献者賞」を受賞</p> <p>1月 「正興エレクトリックカンパニーマレーシア(SECM)」設立</p> <p>2月 法律顧問 和智昴氏逝去(2月7日) 和智翁には戦前より当社法律面のみでなく経営全般での指導を受けた</p> <p>3月 アジア太平洋博覧会(よかトピア)に“セイコーフューチャーワールド”を出展</p> <p>3月 <b>売上高145億円突破(85期)</b></p> <p>4月 正興ソフトウェアエンジニアリング(株)を情報システム事業部に吸収合併する</p> <p>5月 「制御所用訓練シミュレータ」が九州電気協会より表彰</p> <p>6月 <b>土屋 正直 代表取締役会長就任</b> <b>大島 淳司 代表取締役社長就任</b></p> <p>8月 古賀工場自衛消防隊が福岡県粕屋北部地区防災訓練大会にて優勝</p> <p>8月 顧問 楠根宗生氏逝去(8月10日)</p> <p>12月 アジア生産性機構研修団(APO)を受け入れ研修</p>	<p>1月 沖縄電力(株)と那国発電所に発電機用遮断器盤他一式納入(日本最南端の島)</p> <p>2月 九州電力(株)八代制御所に系統表示装置CRT表示方式1号機納入</p> <p>3月 九州電力(株)各営業所に地中配電用自動ガス開閉器内蔵の「開閉器塔」を開発納入</p> <p>3月 九州電力(株)住吉変電所に6kVバンク自動切替装置1号機納入</p> <p>3月 「電話回線利用データ収集装置(SML-50形)」の技術基準適合認定を取得</p> <p>4月 OA、FAシステムのソフト開発を九州電力(株)、西部電機(株)より受託</p> <p>5月 (株)神戸製鋼所加古川厚板工場に「厚板超音波探傷ライン搬送装置」納入</p> <p>6月 九州電力(株)各変電所に表示分配装置を開発納入開始</p> <p>6月 北九州スペースワールドに受変電設備納入</p> <p>9月 中華人民共和国秦皇島に穀物サイロ設備用受変電盤および動力盤納入</p> <p>11月 米国DXTECH社に熱処理炉ボルト投入および空缶搬送設備納入</p>	<p>1月 昭和天皇崩御される(1月7日) 皇太子明仁親王殿下ご即位 新年号「平成」となる(1月8日)</p> <p>1月 米国ブッシュ大統領就任</p> <p>2月 佐賀吉野ヶ里遺跡発掘</p> <p>3月 アジア太平洋博覧会(よかトピア)が福岡市で開幕</p> <p>4月 消費税スタート 税率3%</p> <p>6月 宇野内閣成立</p> <p>6月 中国天安門事件発生</p> <p>8月 海部内閣成立</p> <p>11月 「ベルリンの壁」崩壊</p> <p>12月 日経平均株価の最高値を記録(39,915円)</p>
平成2年 1990	<p>7月 「お客様対応情報通報システム」が九州電気協会から表彰</p> <p>7月 中期3か年経営計画のスローガン「Dash200」に決定</p> <p>7月 情報システム事業部の開発拠点を福岡市博多区フジランドビルに開設</p> <p>10月 <b>福岡証券取引所に株式を上場</b> <b>新資本金:23億2,300万円</b></p> <p>10月 会社紹介ビデオ製作</p>	<p>2月 韓国清州電子にプリント基板研磨装置納入(海外第1号)</p> <p>4月 (株)日立製作所から銀行業務(情報系)パッケージソフト開発を受託開始</p> <p>5月 沖縄電力(株)奥間変電所に22kVメタクラ9面納入</p> <p>5月 九州電力(株)江津変電所に固体絶縁開閉装置(3,000Aシリーズ)開発納入</p> <p>●九州電力(株)松浦発電所にメタクラ・パワーセンター納入</p>	<p>2月 ソ連が一党独裁を放棄し、大統領制採用</p> <p>6月 ペルーに日系大統領フジモリ氏誕生</p> <p>7月 「トヨタ自工」福岡県宮田町へ工場進出調印</p> <p>8月 イラク軍クウェートに侵攻</p> <p>10月 統一ドイツ連邦共和国誕生</p> <p>11月 天皇陛下の「即位の礼」挙行</p> <p>11月 雲仙普賢岳が噴火</p>

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
1990 (平成2年)	11月 土屋巖相談役(元社長)逝去(11月24日) 社葬 11月28日	7月 (株)佐賀鉄工所に自動ボルト硬度測定装置一式納入 9月 (株)マツダにカムシャフト高速搬送ローダー設備一式納入 10月 (株)神戸製鋼所に厚板ショットブラスト制御システム開発納入 11月 九州電力(株)各営業所に新型配電用遠制御子局を開発納入	
1991 (平成3年)	5月 本社ビル別館建設の地鎮祭挙行 6月 営業本部を電力本部と営業本部に分割 6月 梶原景寛工事課長殉職(27日) 毎月27日を「特別安全日」と制定 8月 雲仙普賢岳被災者に正興グループより義援金を贈る 10月 土屋正直会長、(株)福岡ソフトリサーチパーク代表取締役副社長に就任 10月 創立70周年 10月 正興代理店会謝恩会を開催(17社の代表者ご夫妻を招待)	2月 パーソナルCAD(日立GMM-1000形)導入 2月 刷板折曲機1号機完成 2月 九州電力(株)唐津および八幡営業所へ配電線自動制御システム納入 3月 シーケンスCAD(日立2050G/EX形)を導入 3月 台湾、中国石油にプロセス管理システム納入 3月 九州電力(株)加治木変電所に新形テレコンを開発し1号機納入 3月 台湾、中国環球セメントに中央監視盤およびコントロールセンター納入 7月 長崎県平戸市役所古江浄水場にDDC制御方式による簡易水道ロガーシステムを開発納入 7月 新小倉ビルにスポットネットワーク受変電システム納入 8月 通信用デバック装置導入	1月 湾岸戦争勃発 2月 イラク無条件降伏 2月 徳仁親王立太子の礼挙行 4月 ペルシャ湾機雷除去に海上自衛隊出動 5月 千代の富士引退(優勝31回)国民栄誉賞受賞 6月 長崎県雲仙普賢岳大火砕流発生 死者34人 8月 ソ連共産党が解体 8月 米国カール・ルイス選手、東京世界陸上大会にて世界新記録樹立100m 9.86秒 9月 韓国・北朝鮮同時国連加盟 9月 台風17号・19号九州直撃で広域停電発生 11月 宮沢内閣成立 12月 ソビエト連邦崩壊
1992 (平成4年)	4月 正興エレクトリックカンパニーマレーシア(SECM)の資本を(株)正興機器製作所から当社に移転	5月 16ビットSEMICファジー制御基板を開発し福岡市下水道局東部水処理センター月隈ポンプ場に納入 ● 日産IOI,SDN,BHD(マレーシア)に酸素プラントの高低圧配電盤納入 ● (株)金剛(韓国)に石膏ボード製造設備用中央監視制御盤納入 ● 九州電力(株)に配電総合自動化システム納入 ● 沖縄電力(株)具志川火力発電所にメタルクラッド、パワーセンター納入 ● 九州電力(株)新大分発電所メタルクラッド、パワーセンター納入 ● (株)神戸製鋼所加古川製鐵所に製品破砕払出用シーケンス制御盤納入	2月 アルベールビルオリンピック開催(ノルディック複合団体が20年ぶり金メダル) 4月 育児休業法施行 5月 国家公務員の完全週休2日制実施 7月 山形新幹線(福島～新庄)開業 7月 中国、韓国国交樹立 7月 パルセロナオリンピック開催(水泳、柔道で金メダル、男子、女子共にマラソンで銀メダル)
1993 (平成5年)	2月 本社ビル別館竣工 3月 独身者用新「青和寮」竣工 3月 60歳定年制実施 4月 制御器具の販売権を(株)正興機器製作所に譲渡 6月 新鋭粉体塗装設備導入 7月 正興エレクトリックアジア(SEA)設立 8月 メカトロ開発センター発足 8月 土屋正直会長 日本電機工業会より「役員等永年勤続者表彰」を受賞 10月 福岡・大連未来委員会設立 幹事に土屋正直会長就任、当社が事務局となる 11月 中国北京開催の第2回国際電力設備技術展覧会に出展	6月 西部瓦斯(株)福岡LNG基地にコンピュータ式防災・電気監視システム納入 6月 正興エレクトリックカンパニーマレーシアにてMCCユニット生産開始 7月 九州電力(株)熊本総合制御所システム納入 11月 真空遮断器(V6シリーズ)開発 ● 九州電力(株)各変電所に納入アミクラが6,000面突破 ● 沖縄電力(株)久米島発電所に高圧メタルクラッド、パワーセンター納入 ● 九州電力(株)峯北発電所に高圧メタルクラッド、パワーセンター納入 ● 福岡市高宮浄水場に浄水薬注ファジー制御装置納入 ● 中国燕山エチレンプラントに高圧受変電設備納入	1月 米国クリントン大統領就任 1月 欧州統合市場(EU)発足 1月 北海道南西沖地震発生(死者230人) 3月 中国 江沢民国家主席就任 4月 天皇、皇后両陛下初沖縄訪問 5月 サッカー「Jリーグ」発足 6月 皇太子殿下(現天皇陛下)、雅子様とご成婚 8月 細川連立内閣成立 10月 ロシア エリツィン大統領来日
1994 (平成6年)	6月 中国大連市に「大連正興開関有限公司」進出の仮調印を締結 6月 大分営業所開設 7月 建設大臣(現・国土交通大臣)許可取得 ●(特)電気工事 ●(特)機械器具設置工事 ●(般)電気通信工事 9月 第1回マレーシア国際駅伝に参加 12月 札幌出張所開設 12月 「大連正興開関有限公司」合弁契約調印	3月 九州電力(株)大分総合制御所システム納入 ● ペルワジャスチール(マレーシア)にコントロールセンター納入 ● ベトナムにミルプラント用コントロールセンター納入 ● コンパクト6KV受変電設備(NS-1200形)開発 ● 水島共同火力発電所にボイラー制御用コントロールセンター納入 ● 福岡市環境局に遠隔監視制御装置(FAコンピュータ・シーケンス制御)納入 ● 九州高圧コンクリート工業(株)に受注・生産管理システム納入 ● 福岡県産業技術振興財団との共同開発で「博多織エキスパートシステム」完成 ● 九州電力(株)に配電負荷集中監視制御(フェーズIII)を納入	1月 郵便料金値上げ(封書80円、はがき50円) 2月 国産ロケット「H2」打上成功 4月 中華航空 名古屋空港で着陸失敗 264人死亡 4月 羽田内閣成立 5月 ドーバー海峡の海底トンネル開通 6月 村山内閣成立 6月 製造物責任法(PL法)が成立 6月 松本サリン事件発生 7月 北朝鮮金日成主席死去 9月 関西国際空港が開港 10月 大江健三郎氏ノーベル文学賞受賞 12月 三陸沖地震発生(M7.5)

# 年表

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
1995年 (平成7年)	3月 土屋 正直会長逝去(3月22日) 4月 積善社福岡斎場で社葬(4月12日) 4月 正興エンジニアリングサービス(株)を工事に吸収合併、テクノサービス部発足 4月 大連正興開関有限公司設立 10月 ISO9000推進センター発足 ●「多段階フェージ推論による汚水ポンプ制御」が日本電機工業会より表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンバティ浄水場(スリランカ)にグラフィック盤納入</li> <li>カイロ・アミアラ浄水場(エジプト)に高圧ポンプ盤納入</li> <li>マニラ浄水場(フィリピン)にコントロールセンター納入</li> <li>九州電力(株)玖珠営業所に機能分散型配電線制御システム納入</li> <li>四国電力(株)坂出変電所に直流地絡検出継電器盤納入</li> <li>九州電力(株)大霧地熱発電所に防蝕仕様メタルクラッド、パワーセンター納入</li> <li>北九州市畑浄水場に電気計装、水質監視設備納入</li> <li>西日本電線(株)に22kV/400Vスポットネットワーク設備を納入</li> <li>鳥根県庁に遠隔制御システム納入</li> <li>新日本製鉄(株)名古屋に全天候バス受変電設備納入</li> </ul>	1月 阪神・淡路大震災で死者6,308人 3月 東京地下鉄サリン事件で11人死亡 5月 介護休業法が成立 7月 日本道路公団九州自動車道全線開通 7月 日本高速縦貫道(青森～鹿児島)32年をかけて完成 7月 米国、ベトナム国交樹立 8月 Windows95日本語版発売開始
1996年 (平成8年)	4月 本社へ工場間シャトル便運行開始 5月 ダイヤルイン運用開始 5月 正興電機労働組合結成50周年祝賀会開催 7月 情報システム開発百道分室開設(福岡SRPセンタービル内) 10月 大連正興開関有限公司開業 10月 創立75周年 (ホテルグランドハイアットにて開催) ●林田スマ氏記念講演 ●工場ユニホーム一新 ●「ユニット式電源分岐盤」が日本電機工業会より表彰 ●「デジタルモーターコントロールユニット」が九州電気協会より表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>モンゴルの食品工場に高低圧受電設備納入</li> <li>電源開発(株)松浦発電所に原料運搬電源設備納入</li> <li>九州電力(株)鮎ノ瀬発電所に11kVアミクラ納入</li> <li>沖縄電力(株)北大東島発電所に発電機制御盤納入</li> <li>王子製紙(株)米子工場にデジタルモーターコントロールユニット付コントロールセンター納入</li> <li>カイロ・アミアラ浄水場(エジプト)に高圧受電設備、水処理設備用監視制御装置納入</li> </ul>	1月 橋本内閣成立 1月 日本社会党が社民党に改名 2月 北海道余市町の国道「豊浜トンネル」崩落事故で20人死亡 4月 米国クリントン大統領夫妻来日(博多織肖像画贈呈) 6月 キャナルシティ博多開業 7月 O-157で11人死亡 7月 アトランタオリンピック開催 9月 ISO14000シリーズ発効
1997年 (平成9年)	6月 大島 淳司 代表取締役会長就任 土屋 直知 代表取締役社長就任 10月 監査役 富安直助氏逝去(10月27日) 12月 古賀事業所、品質マネジメントシステムISO9001認証取得 12月 コミュニケ委員会発足 ●「分散形集中監視制御システムの開発」が日本電機工業会より表彰 ●「配電線自動制御システム機能分散化」「分散形計装制御システムの開発」が九州電気協会より表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州電力(株)各変電所に縮小形アミクラ(AI形)納入開始</li> <li>九州電力(株)唐津発電所にE形コントロールセンター納入</li> <li>ユニット式電源盤が東京電力(株)の技術評価試験に合格</li> <li>九州電力(株)野間風力発電所に22kV屋外メタルクラッド納入</li> <li>九州電力(株)新苅田発電所に6kVメタルクラッド、縮小形パワーセンター納入</li> <li>丸紅(株)八代工場にフレック監視制御システム(コンピュータ制御)納入</li> <li>セミコンダクターS-2(シンガポール)に排水処理設備用電気設備納入</li> </ul>	2月 中国、鄧小平氏死去 3月 動燃東海再処理施設で被曝事故発生 3月 三井三池炭鉱閉山 4月 消費税5%に引き上げ 4月 ペルー日本大使館公邸にグリラ(MRTA)が武力突入 6月 臓器移植法成立 7月 英国、香港を中国へ返還 10月 古賀市誕生 11月 平成金融危機発生(山一証券、北海道拓殖銀行の経営破綻) 12月 介護保険法公布 12月 地球温暖化防止京都会議開催(COP3)
1998年 (平成10年)	1月 中国大連発電会社と「10kV柱上真空遮断器開発」に関する契約締結 4月 環境管理システムISO14000環境管理センター設置 ●「高調波リレー」および「分散形変電所、集中監視制御システムの開発」が九州電気協会より表彰 ●「12kV40kA真空遮断器」が日本電機工業会より表彰 10月 中国大連市第4回国際配電用設備展示会に配電機器を出展	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミコンダクターS-2(シンガポール)にTPU設備用電気設備納入</li> <li>中国電力(株)川跡変電所に22kV屋外メタルクラッド納入</li> <li>(株)三井三池製作所にトンネル換気ファン制御装置(パッケージ化)納入</li> <li>日本道路公団、千里山トンネルに高低圧受変電、自家発電設備納入</li> <li>西部電機(株)に自動倉庫制御システム納入</li> <li>九州電力(株)大津営業所に配電線自動化オールWSシステム第1号納入</li> </ul>	1月 九州新幹線(船小屋～新八代)着工 2月 長野冬季オリンピック開催(日本は金メダル5個) 4月 明石海峡大橋3,911m開通 7月 日本初の火星探査機打上げ「のぞみ」と命名 7月 小淵内閣成立 11月 鹿児島で日・韓首脳会議開催
1999年 (平成11年)	4月 情報システム事業部 品質管理システムISO9001認定取得 5月 西暦2000年問題対応事務局発足 6月 日本下水道事業団より優良施工業者の認定を受ける 6月 大連正興開関有限公司 品質管理システムISO9001認定取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>力率コントローラ「パワーマスター」を昭栄化学(株)鳥栖事業所に納入</li> <li>電源開発(株)橋湾火力発電所にコントロールセンター納入</li> <li>博多港香椎コンテナヤードに受変電設備、監視制御設備納入</li> <li>(株)大鉄にイコライザー設備納入</li> <li>銚子市清掃センターにゴミ処理データロガー納入</li> <li>西部瓦斯(株)新熊本工場にマルチリレー搭載高圧盤納入</li> </ul>	1月 欧州連合(EU)単一通貨ユーロ誕生 3月 国内初の脳死移植実施 8月 国旗、国歌法成立 8月 トルコで地震発生(M7.4) 9月 台湾で地震発生(M7.7) 9月 台風18号の上陸で九州中部・北部に被害(死者31人) 10月 東海村(JCO)臨界事故で被曝死亡事故発生 10月 世界の人口が60億人を突破 ●Y2K(コンピュータ)誤作動対策(2000年問題)で世界が動揺

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
平成11年 1999	<p>9月 正興グループシステムインテグレーションフェア開催</p> <p>12月 本社、古賀事業所で環境マネジメントシステムISO14001認証取得</p> <p>12月 マレーシア (SECM) 創業10周年、シンガポール駐在員事務所 (SEA) 開設20周年合同創立記念式典開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州電力(株)大江、立花変電所にデジタルバンクフィーダ保護盤、表示補助盤納入</li> <li>沖縄電力(株)下地、辺野古変電所に22kVメタルクラッド、保護継電器盤一式納入</li> </ul>	
平成12年 2000	<p>1月 正興施設エンジニアリング(株)設立</p> <p>2月 「入退所システム」が発明大賞を受賞</p> <p>2月 無災害時間 500万時間達成</p> <p>4月 新事業部制(9事業本部制)スタート</p> <p>5月 大島淳司会長 日本電機工業会より「永年功績賞」を受賞</p> <p>7月 古賀事業所が平成12年度福岡労働局長「優良賞」を受賞(500万時間達成)</p> <p>9月 大島淳司会長 中国大連市荣誉公民の称号を授与される</p> <p>10月 マレーシア (SECM) が正興エレクトリックアジアマレーシア(SEAM)に商号変更</p> <p>10月 シンガポール(SEA)とマレーシア(SEAM)の販売、製造体制一元化</p> <p>11月 業務改革推進室発足</p> <p>11月 (株)エーエスピーランド(ASP)を設立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄電力(株)金武発電所にメタルクラッド、パワーセンター納入</li> <li>九州電力(株)茶北発電所にメタルクラッド、パワーセンター納入</li> <li>中国電力(株)打梨発電所に11kV配電設備納入</li> <li>九州電力(株)大分支店ビル別館に22kVスポットネットワーク受電設備納入</li> <li>(株)神戸製鋼所にIPP貯炭設備用高圧盤、コントロールセンター納入</li> <li>日本道路公団、白鳥トンネルに高圧受変電盤、道路照明、太陽光発電の各設備納入</li> <li>新居浜市港の宮ポンプ場に送水ポンプ場高圧受配電盤、監視制御盤、タッチパネル式操作盤納入</li> </ul>	<p>2月 大阪府知事に太田房江氏当選(女性知事第1号)</p> <p>4月 森内閣成立</p> <p>7月 九州・沖縄サミット開催</p> <p>8月 ロシア、プーチン大統領来日</p> <p>8月 シドニーオリンピック開催 女性選手大活躍</p> <p>9月 三宅島噴火で全島民が避難</p> <p>9月 工業規格の認定マーク付電気製品の販売中止</p> <p>10月 白川英樹教授、ノーベル化学賞受賞</p>
平成13年 2001	<p>1月 (株)正興機器製作所およびマレーシア(SEAM)、品質管理システム(ISO-9001)認証取得</p> <p>2月 インターネットデータセンター(IDC)設立</p> <p>4月 24時間設備保守サービス事業発足</p> <p>4月 <b>中期経営計画(SEIKO IC2005)スタート</b> <b>およびコーポレート・ステートメント制定</b> <b>社は「最良の製品・サービスを以て社会に貢献す」を新たに制定</b></p> <p>4月 スtockオプション制度導入</p> <p>8月 アジアソリューションフィリピン(ASOP)子会社化(所在地マニラ)</p> <p>9月 情報システム事業部 東京事務所開設</p> <p>9月 無災害時間700万時間達成</p> <p>10月 山口営業所開設</p> <p>10月 <b>古賀事業所第一工場改築竣工式</b></p> <p>10月 <b>創立80周年記念式典挙</b> <b>行</b> 記念講演 吉田清治氏</p> <p>11月 <b>創立80周年記念行事開催</b> ・正興技術フェア(福岡SRPセンタービル) ・記念講演会(大前研一氏)および記念パーティ開催(ホテルシーホーク)</p> <p>11月 古賀市役所に創立80周年記念事業としてパーソナルコンピュータ「Webタッチ」寄贈</p> <p>12月 正興施設エンジニアリング(株)品質管理システム(ISO9001)認証取得</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京エレクトロン(株)鳥栖事業所に洗浄装置第1号納入</li> <li>九州電力(株)各変電所納入アミクラ(簡易配電箱)が累積7,500面となる</li> <li>九州電力(株)小倉営業所に配電自動制御オールWSシステム納入</li> <li>九州電力(株)茶北発電所に鍵管理システム納入</li> <li>ヨルダン・ザイ浄水場に下水処理制御装置納入</li> <li>熊本市世安ポンプ場に下水道設備制御システム納入</li> <li>日本道路公団 九六位トンネルに高圧受変電、道路照明、自家発電設備納入</li> <li>九州電力(株)配電線自動化システムの総合機械化連系用データベース納入</li> </ul>	<p>1月 1府12省庁再編成</p> <p>1月 インド西部で大地震発生(18,000人以上死亡)</p> <p>1月 米国ブッシュ大統領就任</p> <p>2月 米国原子力潜水艦と宇和島水産高校実習船「えひめまる」衝突事故で9人死亡</p> <p>3月 ユニバーサルスタジオジャパン開業</p> <p>4月 小泉内閣成立</p> <p>7月 九州新幹線(博多〜船小屋間)着工</p> <p>9月 米国同時多発テロ発生(ニューヨーク世界貿易センタービル倒壊)</p> <p>9月 国内初の狂牛病感染牛発覚</p> <p>10月 米英がアフガニスタンを攻撃</p> <p>10月 日本の完全失業率5.4%</p> <p>11月 中国、WTO加盟正式承認(台湾も同時加盟)</p> <p>12月 野依良治氏(名古屋大学教授)ノーベル化学賞受賞</p>
平成14年 2002	<p>1月 日本下水道事業団より優良工事表彰受賞(福部村ポンプ場電気設備工事)</p> <p>3月 情報システム事業部が通産省のシステムインテグレータ(SI)認証取得</p> <p>3月 正興エレクトリック・アジア(シンガポール)を正興エレクトリック・アジア(マレーシア)に吸収合併</p> <p>3月 第1回早期退職者募集(57名応募)</p> <p>4月 6セグメントによる連結経営スタート</p> <p>4月 正興施設エンジニアリング(株)を正興エンジニアリング(株)に商号変更</p> <p>5月 古賀事業所にて一時帰休実施(延べ146名)</p> <p>6月 執行役員制度を導入</p> <p>8月 (株)エス・キュー・マーケティング設立</p> <p>8月 第1回正興夏祭り開催(古賀事業所)</p> <p>9月 正興福産(株)が正興コーポレートサービス(株)に商号変更</p> <p>11月 中国北京事務所開設</p>	<p>4月 B2CショッピングASPサービス開始</p> <p>5月 中華人民共和国深圳能源集団媽湾発電総工場に低圧盤大口納入</p> <p>10月 広島県企業局8浄水場へ生物センサー初納入</p> <p>12月 九州電力(株)茶北発電所2号機工事でメタラ・パワーセンター納入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電力向け電気所サーバを開発</li> </ul>	<p>1月 欧州12か国で「ユーロ」の通貨流通開始</p> <p>4月 小中学校における「ゆとり教育」開始で完全週5日制となる</p> <p>4月 バブル崩壊後日経平均株価の最安値(7,607円)を記録</p> <p>5月 日本経営者団体連盟と経済団体連合会が合併し、「日本経済団体連合会(経団連)」が発足</p> <p>5月 第17回サッカーワールドカップが日韓共同開催</p> <p>8月 住民基本台帳ネットワーク(住基ネット)運用開始</p> <p>9月 小泉首相が首相として初めて北朝鮮を訪問</p> <p>10月 日本航空と日本エアシステムが合併し、持株会社「日本航空システム」発足</p> <p>10月 田中耕一氏(鳥津製作所)がノーベル化学賞、小柴昌俊氏(東京大学名誉教授)が物理学賞を受賞</p> <p>10月 北朝鮮拉致被害者のうち5人が24年ぶりに帰国</p>

# 年表

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
2003年(平成15年)	<p>2月 (株)正興C&amp;E設立</p> <p>3月 第2回早期退職者募集(51名応募)</p> <p>4月 大連正興開閉有限公司が「大連正興電気制御有限公司」に商号変更</p> <p>5月 正興エレクトリックアジア(マレーシア)の川鉄商事(株)所有株を買取、同時にグループファイナンスの運用開始</p> <p>7月 「(株)新技術研究所」による生産方式改善指導の導入</p> <p>7月 バリューアップ運動の標語募集</p> <p>7月 大雨による水害が発生し、福岡県内・熊本県内納入設備で多数の被害発生</p> <p>9月 九州電力(株)より「電力輸送部門ITシステム(TSMS)」開発に関し表彰を受ける</p> <p>10月 適格退職年金制度を廃止し、確定拠出年金制度を導入</p>	<p>3月 B2B企業間取引ASPサービス運用開始</p> <p>3月 英語学習ソフト「EDO(English Discoveries Online)」のサービス開始</p> <p>7月 九州電力(株)へ業務ITシステム「電力輸送部門ITシステムフェーズII」納入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● イオンモール香椎浜ショッピングセンターへ22kV特別高圧受変電設備納入(イオングループ向の第1号)</li> </ul>	<p>2月 スペースシャトル「コロンビア号」が空中分解し、乗員7人死亡</p> <p>3月 イラク戦争(第二次湾岸戦争)勃発</p> <p>3月 中華人民共和国の全人代で胡錦濤氏が国家主席に選出される</p> <p>3月 新型肺炎(SARS)がアジアを中心に感染拡大</p> <p>4月 日本郵政公社発足</p> <p>4月 イラクバグダッド陥落し、フセイン体制崩壊</p> <p>5月 個人情報保護関連5法成立</p> <p>6月 有事関連法成立</p> <p>7月 九州地方で集中豪雨発生し、23人死亡</p> <p>10月 福岡ダイエーホークス2度目の日本一地上デジタル放送開始</p> <p>11月 地上デジタル放送開始</p> <p>12月 公職選挙法改正により期日前投票制度を導入</p>
2004年(平成16年)	<p>2月 平尾社宅跡地売却</p> <p>4月 (株)正興産機を(株)正興商會に吸収合併</p> <p>7月 職能資格制度を役割等級制度に人事制度を変更(バランススコアカード、行動特性の導入)</p> <p>11月 社員相談窓口の開設(コミュニケーションボックスの設置)</p> <p>12月 新潟県中越地震義援金送付</p>	<p>3月 福岡市営地下鉄3号線(別府～薬院間)電気設備工事</p> <p>10月 家庭用蓄電システム「ENEPAC(エネ・パック)」販売開始、第1号を大分に設置</p> <p>10月 (株)九電よりCADデータエントリー業務を受託開始(ジェネラルサービシーズ(株)と連携)</p>	<p>1月 自衛隊によるイラク派遣開始</p> <p>3月 九州新幹線(新八代～鹿児島中央間)が開通</p> <p>4月 消費税の内税表示(総額)の義務化開始</p> <p>8月 第28回アテネオリンピック開催 日本は史上最多の37個のメダル獲得</p> <p>10月 福岡シティ銀行と西日本銀行が合併し、「西日本シティ銀行」発足</p> <p>10月 新潟県中越で震度6強の地震が3回発生し、死者39人被災者10万人以上の被害</p> <p>11月 新紙幣が発行され、1万円札に「福沢諭吉」、5千円札に「樋口一葉」、千円札に「野口英世」</p> <p>12月 スマトラ島沖にてM9.0の地震発生、津波被害により約29万人が死亡</p>
2005年(平成17年)	<p>2月 シンガポール駐在員事務所閉鎖</p> <p>3月 情報システム事業部を分社し、「正興ITソリューション(株)」設立</p> <p>3月 社内カンパニー制の導入(電力システムカンパニー、社会システムカンパニー設立)</p> <p>6月 <b>土屋 直知 代表取締役会長に就任</b></p> <p>6月 <b>井上 信之 代表取締役社長に就任</b></p> <p>6月 正興エンジニアリング(株)を(株)正興電機製作所に吸収合併</p> <p>6月 正興エンジニアリング(株)跡地を売却</p> <p>6月 東京支社設立</p> <p>10月 東京支社開設披露行事として技術フェアを開催</p> <p>12月 横浜営業所開設</p> <p>12月 決算期を3月から12月に変更</p>	<p>3月 HLS通信式入出力モジュールの販売開始</p> <p>3月 遮断器用補助スイッチ(YMZ)販売開始</p> <p>11月 銚子ウインドファーム66kV特別高圧受変電設備納入</p> <p>11月 東京都下水道局小台処理場に大形水処理電気設備初納入</p> <p>12月 送電線保護装置「SD盤」1号機を九州電力(株)緑川変電所に納入(自社製継電器開発は大手以外初)</p>	<p>2月 京都議定書(COP3)発効</p> <p>2月 福岡市営地下鉄七隈線開業</p> <p>2月 中部国際空港(セントレア)開港</p> <p>3月 愛知県にて「愛・地球博覧会」開幕</p> <p>3月 福岡県西方沖地震発生(M7.0、震度6弱で死者1人)</p> <p>3月 スマトラ島西方沖にてM8.7の地震発生、津波被害により約2,000人が死亡</p> <p>4月 JR西日本福知山線で快速電車の脱線事故発生107人死亡、400人以上の負傷者を出す大惨事</p> <p>4月 個人情報保護法全面施行</p> <p>10月 日本道路公団民営化(NEXCO設立)</p> <p>10月 郵政民営化法成立</p> <p>10月 九州国立博物館開館</p> <p>11月 マンションを中心に耐震強度偽装疑惑が発覚</p> <p>12月 日本の人口が統計史上初の自然減</p>
2006年(平成18年)	<p>1月 中期経営計画「NEW SEIKO IC2008」制定「インターナショナルカンパニーを目指して、新たな挑戦と発展」</p> <p>4月 正興オプトロニクスカンパニー、正興パワーエレクトロニクスカンパニー新設</p> <p>6月 北京正興聯合電機有限公司設立</p> <p>7月 アジア・ソリューション・フィリピンを「正興ITソリューション・フィリピン,Inc.」に商号変更</p> <p>8月 さいたま営業所開設</p> <p>10月 創立85周年記念式典挙行(記念講演は九州電力(株)松尾新吾社長)</p> <p>11月 一括支払信託導入</p>	<p>3月 自社開発電気所サーバ1号機を九州電力(株)泉変電所に納入</p> <p>3月 マイコン内蔵ジョイスティック販売開始</p> <p>3月 介護認定支援システム「アイラビット」を飯塚市、嘉麻市に導入</p> <p>3月 古賀事業所に50kWhエネルギー貯蔵システムを設置(10kW太陽光モジュール併設はNEDO平成17年太陽光発電新技術等フィールドテスト事業に採択)</p> <p>4月 港湾業務システムASPサービス開始</p> <p>4月 フィリピンでのオフショア開発開始</p> <p>5月 生物センサーの初輸出(米国)</p> <p>9月 中華人民共和国大唐国際発電北京高井発電場に脱硫DCS制御システムを初納入</p> <p>11月 集合型漏電リレー販売開始</p> <p>12月 アミューズ向小型液晶フィルム量産品納入(株)日立ディスプレイズ(現・(株)ジャパンディスプレイ))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 古賀市古賀水再生センター電気設備納入</li> </ul>	<p>2月 第20回冬季オリンピックトリノ大会開幕、荒川静香が女子フィギュアスケートで金メダル</p> <p>3月 新北九州空港開港</p> <p>3月 第1回ワールド・ベースボール・クラシックで日本が優勝</p> <p>4月 障害者自立支援法施行</p> <p>5月 ジャワ島中部でM6.3の地震が発生し、死者5,500人以上</p> <p>8月 福岡市海の中道大橋で飲酒運転事故が発生し、子供3人が死亡</p> <p>8月 首都圏大停電(クレーン船による架線切断事故)</p> <p>9月 安倍内閣成立</p> <p>10月 北朝鮮による核実験実施</p> <p>12月 新教育基本法成立</p>

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
2007 (平成19年)	3月 東京電子機械工業健康保険組合に加入 3月 ISO27001 (ISMS) 認証取得 6月 大連正興電気制御有限公司が大連市内から経済技術開発区へ移転 6月 水処理中央監視制御システム用試験設備導入 11月 第2回マレーシア国際駅伝大会に参加(13年ぶりの開催) 11月 大連正興電気制御有限公司にて新工場落成式挙行 <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て応援宣言登録</li> </ul>	3月 中華人民共和国国電電力大連庄河発電有限責任会社へ埠頭石炭搬送DCS制御システム初納入 3月 マレーシア電力公社(TNB)向カムスイッチ初納入 6月 東京都下水道局吾嬬第2ポンプ所へ大型中央監視制御設備納入 8月 九州電力(株)佐賀営業所に配電集中化システム1号機納入 9月 西部ガス情報システム(株)内管工事システム(シリウス)運用開始 11月 操作支援システムで特許取得「プラント設備に対する誤操作防止システム」	1月 防衛庁が防衛省に昇格 1月 宮崎県で鳥インフルエンザ流行 6月 食品偽装事件が多発 7月 新潟県中越沖地震発生(M6.8) 8月 月探査衛星「かぐや」の打ち上げ成功 9月 米国でサブプライム・ローン問題が深刻化 9月 福田内閣成立 10月 郵政民営化スタート
2008 (平成20年)	1月 (株)エス・キュー・マーケティングが正興ITソリューションに吸収合併 3月 <b>土屋 直知 最高顧問就任</b> 3月 経営諮問委員会設置 6月 中国四川省大地震義援金送付 11月 土屋直知最高顧問が福岡商工会議所副会頭に就任 12月 正興CITIクラブ開設 12月 モノづくり本部に正興プロダクツカンパニー新設 12月 エネルギーソリューションカンパニー設立	3月 (株)アルプスツール テクノ坂城工場に30kWhエネルギー貯蔵システム(太陽光発電15kW併設)を納入 3月 川崎市加瀬水処理センターに日量24万tの大型水処理用中央監視制御設備納入 3月 松山市公営企業局かさつばた浄水場・高井神田浄水場にPFI事業の一環として公募型設計コンペ、DBO方式参加採用物件納入 4月 シンガポール電力庁向コントロールスイッチ初納入 7月 北京オリンピックセキュリティ対策として北京市水務局へ生物センサーを納入 8月 情報システム開発言語「Ruby」への取り組み開始 12月 (株)佐賀鉄工所多岐新工場へKLライン納入	4月 企業内部統制制度「J-SOX法」スタート 5月 北海道洞爺湖サミット開催 5月 中国四川省でM7.9の大地震発生 6月 岩手・宮城内陸地震発生(M7.2) 6月 原油価格高騰 8月 第29回北京オリンピック開催 9月 米国リーマン・ブラザーズが破綻 9月 麻生内閣成立
2009 (平成21年)	1月 中期経営計画「CHALLENGE SEIKO IC2011」を制定(持続的な高収益を目指して、経営革新(Innovation)と利益創造(Creation)に挑戦する) 5月 井上信之社長が日本電機工業会九州支部長に就任 5月 土屋直知最高顧問が日本電機工業会永年勤続表彰を受賞 11月 日刊工業新聞社主催フレッシュア産業論文コンクールにて第1席を受賞 12月 (株)エスピーランドが正興ITソリューションに吸収合併 12月 財務報告に係る内部統制(J-SOX)導入 <ul style="list-style-type: none"> <li>正興エレクトリックアジアマレーシア創立20周年</li> </ul>	3月 九州電力(株)東小城変電所にデジタル自動復旧装置1号機納入 3月 入退所管理システムが九州電力(株)変電所に全社展開(正興シェア100%) 3月 横須賀市下町浄化センターへ大型水処理電気設備納入 4月 九州電力(株)にセンサー内蔵型ラッチ式6kV自動ガス開閉器の納入開始 5月 液晶フィルムがオカムラ製高級パーテーション「プロヴァート」に搭載 5月 西部ガス情報システム(株)顧客総合管理システム(CIS)運用開始 6月 中国大連清本再生水処理有限公司に再生水処理制御システムを納入 11月 EV用直流地絡リレー販売開始 11月 新日本製鉄(株)八幡製鉄所に電気設備のレトロフィット工法1号機施工 12月 鉄道車両用マスターコントロールスイッチ納入開始	1月 米国バラク・オバマ大統領就任 5月 裁判員裁判制度施行 6月 新型インフルエンザが世界的流行 6月 米国ジェネラル・モーターズ破産法申請 9月 消費者庁発足 9月 民主党の鳩山内閣成立(政権交代) 10月 スマトラ沖地震発生(M7.6)
2010 (平成22年)	1月 本社・古賀事業所に入退管理システム導入 1月 第2回フクオカRuby大賞奨励賞を受賞 5月 東北営業所開設 5月 北九州・西九州営業所廃止 6月 花鶴クラブ跡地売却 6月 宮崎県口蹄疫義援金送付 7月 総合制御所システム用ハウスマシン導入 7月 飲酒運転撲滅を誓うモニュメント建立募金 10月 札幌出張所を営業所に昇格 11月 現地操作支援システムが溢澤賞を受賞	3月 埼玉県企業局新三郷浄水場へ大型中央監視制御設備納入 3月 新カタル空港向カムスイッチ納入 3月 九州電気保安協会へ地図基盤システム納入 4月 急速充電器用直流電源装置初納入 4月 eラーニングプラットフォームRoodle-LMSサービス開始 6月 岐阜県ククラひるがのへ10kWhエネルギー貯蔵システム納入(3kW太陽光発電併設) 6月 九州電力(株)福岡電力所で現地操作支援システム1号機稼働開始 6月 新型多回路開閉器塔II型1号機納入(九州電力(株)宮崎支店) 10月 介護保険認定審査システム「アイラビット」を南薩介護保険事務組合へ納入	1月 日本航空(株)が会社更生法を申請 1月 日本年金機構発足 2月 テリにてM8.8大地震発生。日本にも津波が到達 5月 宮崎県で口蹄疫感染拡大 5月 中国上海万博開催 6月 菅内閣成立 8月 テリの釜山落盤事故で70日後奇跡的に33人全員救出 9月 尖閣諸島で中国漁船と海上保安庁巡視艇が衝突 10月 鈴木章氏、根岸英一氏がノーベル化学賞を受賞 10月 小惑星探査機「はやぶさ」が地球帰還

# 年表

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
2011 (平成23年)	<p>3月 九州電力(株)北九州総合制御所運用開始にて表彰される</p> <p>4月 東日本大震災義援金送付</p> <p>7月 エルダー教育制度導入</p> <p>8月 自己株式の20万株を処分(山口銀行が引き受け)</p> <p>10月 自己株式の100万株を処分(株九電工が引き受け)</p> <p>10月 創立90周年式典挙行</p> <p>12月 中期経営計画「CHALLENGE SEIKO IC2014」制定</p> <p>12月 大連正興電気制御有限公司の大連冰山集団出資権の全額買取を決定</p>	<p>3月 九州電力(株)北九州総合制御所システム運用開始</p> <p>4月 介護保険認定審査支援システム「アイラビット」の九電ビジネスソリューションズ(株)(QBS)所有分の事業譲渡を受ける</p> <p>7月 九州電力(株)電力輸送本部伝票連携システム運用開始</p> <p>10月 蓄電システム「エネクス」の販売開始</p> <p>12月 中日本高速道路(株)第二東名高速道路受配電自家発電設備納入</p>	<p>1月 新燃岳噴火</p> <p>3月 東日本大震災発生(M9.0)。大津波で東日本全体で甚大な被害発生</p> <p>3月 東京電力(株)福島第一原子力発電所で電源喪失により炉心溶融、水素爆発発生</p> <p>3月 電力不足により計画停電実施</p> <p>3月 新博多駅「JR博多シティ」開業</p> <p>3月 九州新幹線全線開業</p> <p>7月 第6回サッカー女子ワールドカップでなでしこジャパンが初優勝</p> <p>9月 野田内閣成立</p> <p>10月 戦後最高の円高(75.54円)を記録</p> <p>11月 福岡ソフトバンクホークス日本一</p>
2012 (平成24年)	<p>3月 (株)正興商会と正興コーポレートサービス(株)を併し「(株)正興サービス&amp;エンジニアリング」を設立</p> <p>3月 大連正興電気制御有限公司を100%子会社化</p> <p>8月 ブラチナ構想ネットワーク入会</p> <p>10月 創立90周年記念事業としてL・Rサイト竣工</p> <p>10月 正興テクノフェア開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州電力(株)IP対応型電気所サーバ1号機納入(東町変電所)</li> <li>九州整備局耶馬溪ダム水力発電設備納入</li> <li>大分県松木水力発電設備納入</li> <li>山口県丸山ダム水力発電設備納入</li> <li>西部ガス情報システム(株)無停電電源装置更新工事</li> </ul>	<p>5月 東京スカイツリー開業</p> <p>7月 ロンドンオリンピック開催</p> <p>7月 九州北部豪雨発生</p> <p>7月 テレビ放送完全デジタル化</p> <p>9月 国内原子力発電所全機停止</p>
2013 (平成25年)	<p>1月 元社長・会長 大島淳司逝去(1月21日)</p> <p>3月 <b>土屋 直知 代表取締役会長に就任</b> <b>福重 康行 代表取締役社長に就任</b></p> <p>4月 再雇用制度改正(希望者全員再雇用)</p> <p>4月 カンパニー制から部門制へ変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株)九電工七ツ島メガソーラーへ電気設備納入(太陽光発電工事が増加)</li> <li>九州電力(株)大分総合制御所システム納入</li> <li>九州電力(株)燃料ITシステム納入</li> <li>九州電力(株)ユニット交換型S+DZ盤1号機納入(江川ss、長崎ss)</li> <li>HLS通信式出力モジュール(SOE24形)開発</li> <li>コンデンサ内蔵端子台(AT形)販売開始</li> <li>太陽光発電所設備を大連正興電気制御有限公司と協業で輸入販売</li> </ul>	<p>1月 福島復興再生総局発足</p> <p>3月 南九州自動車道西回開通</p> <p>4月 アベノミクス始動(異次元の金融緩和)</p> <p>5月 北九州市政令都市制定50周年</p> <p>6月 富士山が世界遺産に登録</p> <p>7月 環太平洋連携協定(TPP)に日本が参加</p> <p>10月 JR九州「ななつ星in九州」運行開始</p>
2014 (平成26年)	<p>4月 (株)正興C&amp;Eの営業部門以外の部門を譲渡統合</p> <p>4月 正興エレクトリックアジア(マレーシア)の株式を取得し完全子会社化</p> <p>6月 ヘルスカア産業づくり特別賞受賞</p> <p>11月 経営懇談会設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭用蓄電システムが補助金もあり大量販売</li> <li>第1回ヘルスカア産業づくりにて特別賞を受賞</li> <li>太陽光ストリング監視モニター開発</li> <li>九州電力(株)災害復旧支援システム フェーズI納入</li> <li>九州電力(株)熊本総合制御所システム納入</li> <li>九州電力(株)ガスレス(気中)開閉器(600A)開発・納入</li> </ul>	<p>3月 消費税8%に引き上げ</p> <p>8月 豪雨による広島土砂災害発生</p> <p>8月 エボラ出血熱拡大(世界6,000人死亡)</p> <p>9月 御嶽山噴火で57人が死亡、戦後最悪の火山災害</p> <p>12月 赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏がノーベル物理学賞を受賞</p>
2015 (平成27年)	<p>1月 中期経営計画IC2017制定「事業拡大の基盤づくりと高収益化」</p> <p>11月 地中用多回路開閉器塔が濫澤賞を受賞</p> <p>12月 正興エレクトリックアジアマレーシア創立25周年記念式典開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新殖産興業イノベーション研究講座「優秀賞」受賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中日本高速道路(株)名古屋管制センター電気設備納入</li> <li>ソニー熊本工場電気設備納入</li> <li>九州電力(株)災害復旧支援システム フェーズII納入</li> <li>西部瓦斯(株)へ燃料電池保守サービス業務を提供</li> </ul>	<p>1月 サイバーセキュリティ基本法施行</p> <p>9月 川内原子力発電所再稼働</p> <p>9月 関東東北豪雨発生(茨城・栃木・宮城)</p> <p>10月 ラグビーワールドカップで日本が歴史的勝利</p> <p>11月 第21回国連気候枠組み条約「COP21」採択</p> <p>12月 大村智氏ノーベル化学賞、梶田隆章氏ノーベル物理学賞受賞</p>
2016 (平成28年)	<p>2月 決算賞与の導入</p> <p>6月 (株)Dパワー-熊本株式を取得し、持分法適用関連会社化</p> <p>10月 健康経営宣言第4回プラチナ大賞審査委員特別賞受賞</p> <p>12月 昭和35年に分離した正興電気建設の株式を取得し、完全子会社化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州電力(株)スイッチング連係システム納入</li> <li>東京電力(株)富津火力向パワーセンター他納入</li> <li>九州電力(株)再エネ調整システム I期納入</li> <li>九州電力(株)低圧計器用変流器(特定検定)開発・納入</li> <li>九州電力(株)配電自動化業務支援システム納入</li> <li>山口県宇部浄化センター電気設備納入</li> <li>地熱発電所向マルチリレー開発</li> <li>ルネサスイーストン社向アミューズ用液晶フィルム納入</li> <li>高齢者健康支援ソフト「起立の森」の九州大学との関係により開発</li> <li>正興サービス&amp;エンジニアリングにて電気設備保安法人資格取得</li> <li>福岡銀行に健康管理システム納入</li> <li>第2回Ruby Bizグランプリでソーシャルイノベーション賞を受賞</li> </ul>	<p>1月 日本銀行がマイナス金利政策</p> <p>4月 電気事業法改正(全面小売自由化)</p> <p>4月 熊本地震発生(前震M6.5/本震M7.3)</p> <p>8月 リオデジャネイロオリンピック開催</p> <p>10月 鳥取県中部地震発生(M6.6)</p>

年	経営一般	技術・製品・納入	社会一般
2017 (平成29年)	4月 トライテック(株)を完全子会社化 9月 シンガポール駐在員事務所を支店に昇格 11月 東京証券取引所第2部上場 12月 地域未来牽引企業に選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国電力(株)江田島変電所7.2kVスイッチギヤ納入</li> <li>● 近畿整備局毛馬排水機場電気設備</li> <li>● 京都府大野ダム「運転支援システム」</li> <li>● (株)九電工經由関西ビジネスセンター電気設備納入</li> <li>● MODBUS通信式入力モジュール(SLC16-1MB形)開発</li> <li>● 電力用再開路リレー開発</li> <li>● みやま市に地域電力供給を含めたEMSシステムを納入</li> <li>● 大分県で市民参加の健康管理システム実証試験に参画</li> </ul>	1月 米国トランプ大統領就任 7月 九州北部豪雨発生(福岡・大分、死者行方不明者41人) 9月 桐生祥秀、日本人初の9秒台樹立 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大手メーカーの検査偽装事件発覚</li> </ul>
2018 (平成30年)	1月 中期経営計画IC2021制定 2月 健康優良法人ホワイト500認定 3月 添田 英俊 代表取締役社長に就任 4月 指名・報酬諮問委員会設置 8月 一斉年休制度導入 9月 (株)Dパワー熊本との業務・資本提携の解消 9月 土屋直知会長 中国大連市荣誉公民の称号を授与される 12月 東京証券取引所第1部指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 九州電力(株)ガスレス(真空)開閉器(800A)開発・納入</li> <li>● 東京電力(株)備品管理システム全社展開</li> <li>● 東北電力(株)備品管理システム全社展開</li> <li>● 高知市針水浄水場監視制御装置納入</li> <li>● 東日本高速道路(株)北海道横断道路電気設備納入</li> <li>● 東日本高速道路(株)新東名高速道路トンネル照明120km/h化工事竣工</li> <li>● 小水力発電設備(発電機制御盤含む)納入【犬鳴ダム、松木ダム】</li> <li>● 広域CT対応マルチリレー開発</li> <li>● 2000V対応直流地絡リレー開発</li> <li>● 旭化成(株)延岡工場へ電気設備納入</li> <li>● 蓄電システム「エネバック・ハイブリッド」開発</li> </ul>	2月 平昌冬季オリンピックで最多13メダル獲得 6月 働き方改革関連法案成立 6月 米朝初の首脳会談実現 7月 西日本豪雨発生 8月 台風21号来襲(四国・近畿)(死者14人) 8月 大坂なおみ、全米オープンテニスで優勝 9月 北海道胆振東部地震(ブラックアウト発生) 10月 東京都豊洲市場開場
2019 (平成31・令和元年)	2月 外務省JAPAN SDGs Action Platformに登録 2月 日本経済団体連合会(経団連)に入会 3月 経済産業省および日本経営会議主催の健康優良法人認定制度において「健康優良法人2019(ホワイト500)」に認定される 4月 役員報酬制度の改定および譲渡制限付き株式報酬制度の導入 9月 オープンイノベーションラボ(SOIL)開設 10月 5Gを活用したロボット警備サービスの実用化に向けた協業覚書を(株)にしけい、(株)NTTドコモと締結	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 九州電力(株)広域型配電線自動化システム第1号機を北九州支社小倉配電事業所に納入</li> <li>● 九州電力(株)に遠隔監視システムを納入</li> <li>● 九州電力(株)に設備保全管理システムを納入</li> <li>● 横浜市港北配水池場に制御システムおよび電気設備を納入</li> <li>● (株)九電工經由データセンター「K-CUBE博多」に特高受変電設備一式を納入</li> <li>● 福岡ヘルス・ラボより「起立の森」が効果認証マークを付与される</li> <li>● CTサーモセンサーを開発</li> <li>● 無人変電所用QRコード対応入退所管理子局を開発・納入</li> <li>● 電源開発(株)竹原火力発電所にメクラ・パワーセンター一式を納入</li> <li>● ソニーセミコンダクタ(株)熊本工場に電気設備一式を納入</li> </ul>	4月 出入国管理法改正 5月 徳仁殿下天皇に即位、年号を令和に改元 6月 G20大阪サミット開催 8月 日本政府が韓国のホワイト国除外を決定 8月 九州北部豪雨(佐賀・武雄)発生 9月 ラグビーワールドカップ日本大会で日本勢として初の決勝トーナメント進出 10月 消費税10%に引き上げ 10月 吉野彰氏ノーベル化学賞受賞 10月 関東・東北大水害発生 10月 沖縄首里城火災にて焼失
2020 (令和2年)	1月 オープンイノベーションラボ開設記念フォーラム開催 (株)正興C&Eを吸収合併 3月 古賀事業所部製工場新築竣工 4月 同一労働同一賃金スタート 7月 福岡水素エネルギー戦略会議より「塩分濃度差を利用した水素製造法」が製品開発事業に認定される 7月 資源エネルギー庁の地域マイクログリッド構築支援事業の参画企業に認定 10月 古賀事業所エンジニアリング棟起工式	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エイコーエナジー(株)和気ソーラーパーク(110kV太陽光発電設備)納入</li> <li>● 検温カメラ・顔認証システム販売開始</li> <li>● JR東海(株)新幹線N700Sにジスタ採用決定</li> <li>● 関西電力(株)火力発電所監視ロボット納入</li> <li>● 横浜市下町浄化センターに制御・電気設備納入</li> <li>● (株)トヨタカスタマイジング&amp;デベロップメントに救急車用調光フィルムが採用される</li> <li>● 中国電力ネットワーク(株)彦島変電所に24kVスイッチギヤ納入</li> <li>● 九州電力送配電(株)佐賀支社・熊本支社に広域型配電線自動制御システムを納入</li> <li>● 蓄電システムが経済産業省の補助金製品に認定</li> <li>● 大容量(800A)配電用柱上真空開閉器を開発</li> </ul>	1月 中国武漢でCovid19発生、世界的パンデミックに発展 1月 英国が正式にEU離脱 3月 東日本大震災から9年ぶりに常磐線全面開通 3月 東京オリンピックの開幕延期決定 3月 全国高校野球選手権春・夏大会の中止決定 4月 Covid19に関する緊急事態宣言発令 6月 スーパーコンピュータ「富岳」が世界最高性能を記録 7月 九州豪雨(人吉・球磨地区)発生 9月 管内閣成立 11月 福岡ソフトバンクホークスが日本シリーズ5連覇を達成
2021 (令和3年)	1月 HMS(株)(AI/AR事業)に出資 6月 古賀事業所第一工場改築竣工 6月 コロナワクチン職接種を実施 9月 古賀事業所エンジニアリング棟(Eサイト)竣工 10月 創立100周年記念式典開催(古賀事業所) 10月 物故者慰霊祭開催(承天寺) 11月 創立100周年正興テクノフェア開催 11月 創立100周年感謝の集い開催(ヒルトン福岡シーホークホテル) 12月 中期経営計画IC2026を制定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中部電力(株)に「指令操作支援システム」を納入</li> <li>● 九州電力送配電(株)「伝票業務支援システム再構築」納入</li> <li>● 福岡市立こども病院へ「検温カメラ」を寄贈</li> <li>● 九州電力(株)花瀬川発電所に水力発電機・電気設備一式を納入</li> <li>● 西日本高速道路(株)九州自動車道17カ所電気設備更新工事納入</li> <li>● 九州電力送配電(株)に総合制御所セキュリティ管理システムを納入</li> <li>● 福岡市役所本庁舎電気設備納入で優良施工表彰を受ける</li> </ul>	1月 米国バイデン大統領就任 2月 ミャンマーでクーデター勃発、軍事政権復活 3月 東京オリンピックの聖火リレーが福島から出発 4月 松山英樹が日本人初のゴルフメジャー制覇(マスターズ) 7月 東京オリンピック開幕し、史上最多の58個のメダル獲得 8月 アフガニスタン戦争終結 8月 東京パラリンピック開幕し、史上2番目の51個のメダル獲得 10月 岸田内閣成立 10月 真鍋淑郎氏がノーベル物理学賞受賞 11月 COP26開幕(脱炭素への取組み加速)